

# 沖縄県小売業SAFE協議会

～私たちは労働災害の防止対策に取り組んでいます～

## 令和6年度第1回目協議会を開催

令和6年度第1回目協議会を令和6年6月21日に開催しました。令和4年の設立から通算5回目の開催です。

令和5年の沖縄県内小売業で発生した労働災害は、転倒によるものが最も多く、全体の34%を占めています。

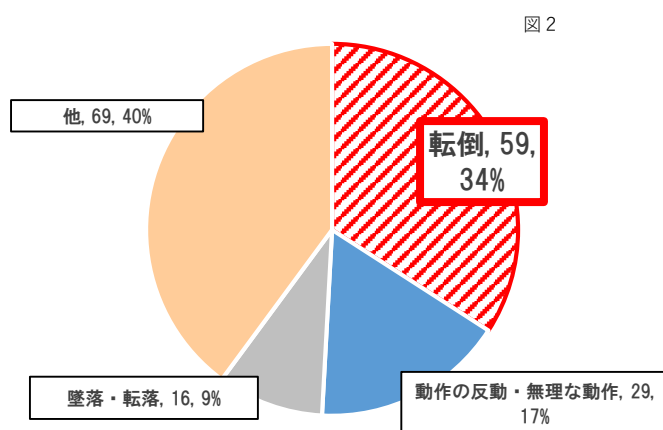
今回の協議会では、転倒やリスクの「見える化」など災害防止対策の取組事例を情報共有しました。

また、各企業構成員の取組事例を沖縄県内小売業へ水平展開するため、取組事例を掲載したパンフレットの改訂・周知等に関する話し合いも併せて行いました。



沖縄県内小売業における労働災害（休業4日以上）発生状況の推移  
（新型コロナウイルス感染症のり患による労働災害を除く）

（出典：労働者死傷病報告）



令和5年12月末累計（確定値）

沖縄県内小売業における事故型別労働災害（休業4日以上）発生状況  
（新型コロナウイルス感染症のり患による労働災害を除く）

（出典：労働者死傷病報告）

## 構成員

### 企業



イオン琉球株式会社  
金秀商事株式会社  
株式会社サンエー  
株式会社リウボウインダストリー  
株式会社リウボウストア  
生活協同組合コープおきなわ

### 業界団体

沖縄県商工会連合会

### 行政機関

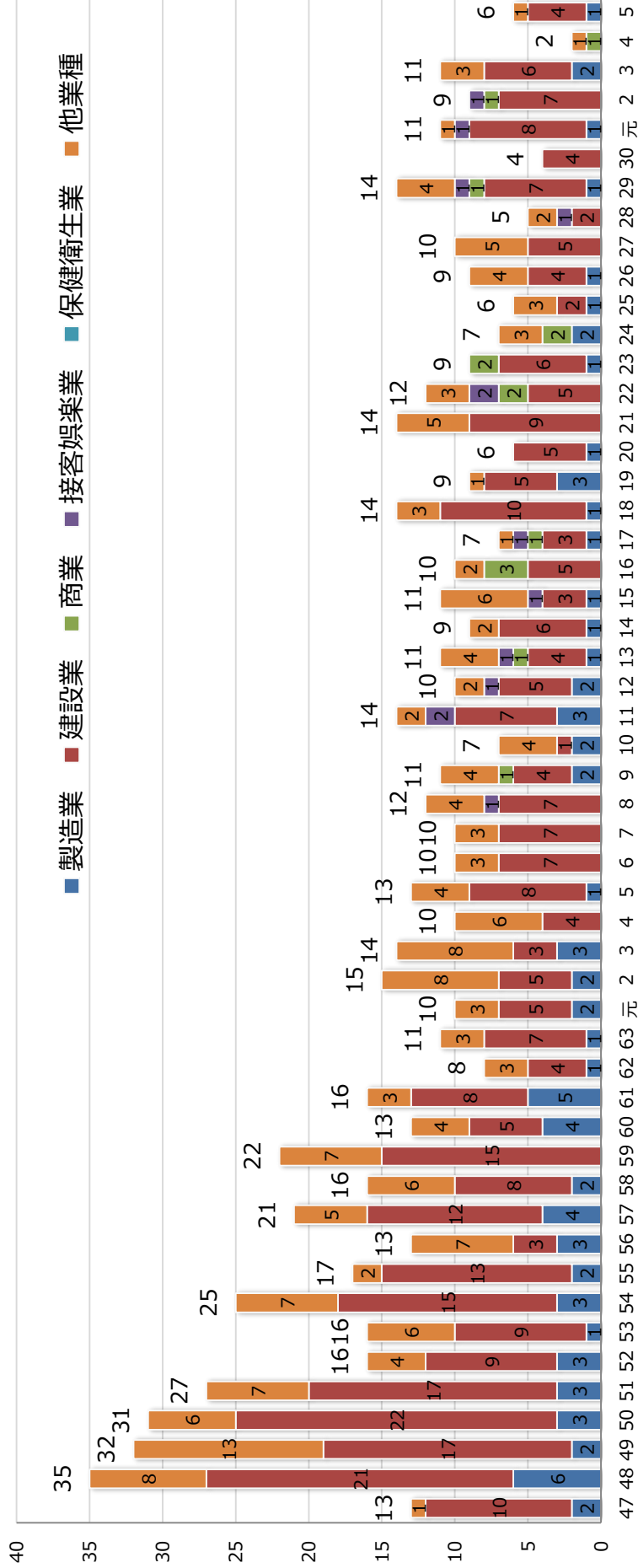
沖縄県商工労働部  
中小企業支援課

事務局：沖縄労働局労働基準部健康安全課

# 1 沖縄県内の労働災害発生状況（死亡災害発生状況の推移）

## 死亡災害

- 死亡災害は、前年と比較して4名増となった。
- 令和4年は建設業の死亡災害が0件であったが、令和5年は4件となった。

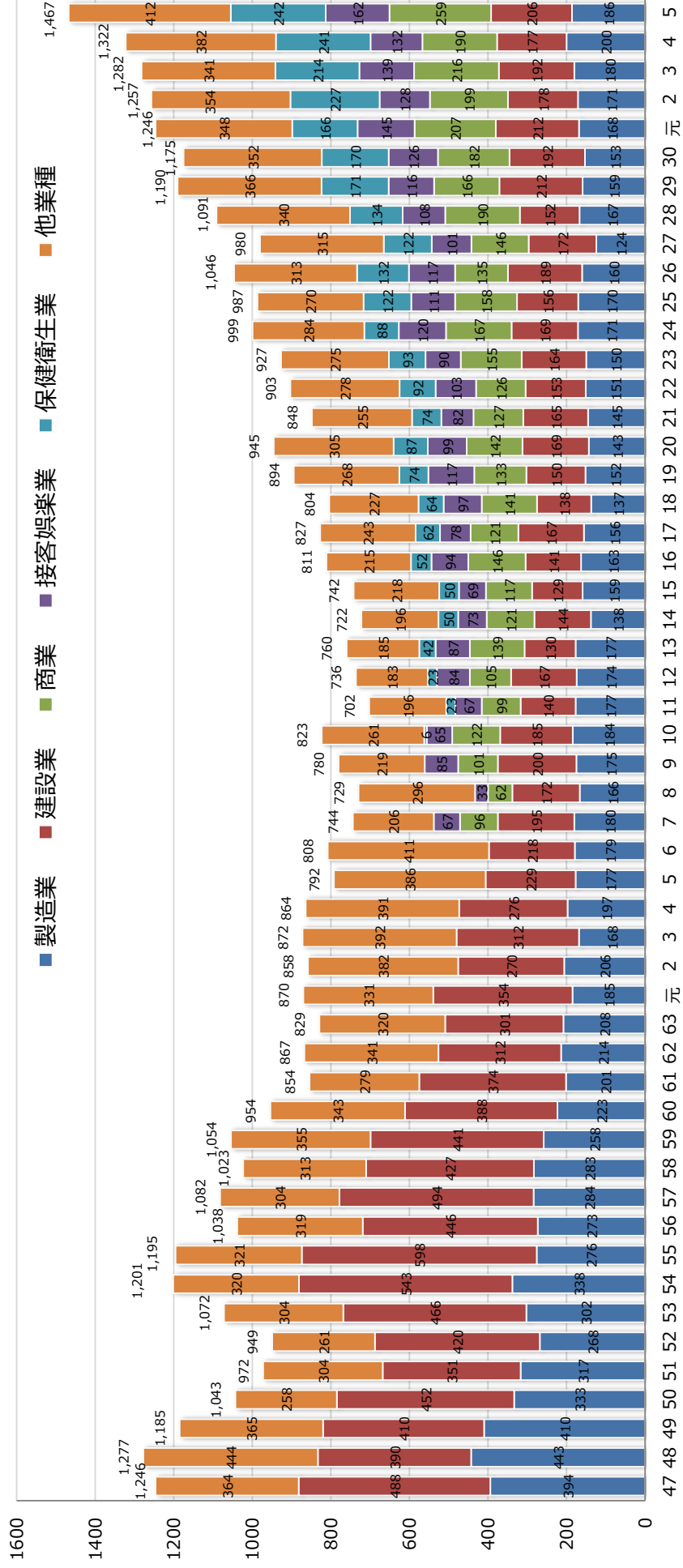


(注) 1 死亡者数は死亡災害報告による。  
 2 平成6年以前について、商業及び接客娯楽業は他業種に含まれる。  
 3 平成9年以前について、保健衛生業は他業種に含まれる。

# 1 沖縄県内の労働災害発生状況（休業4日以上の災害発生状況の推移）

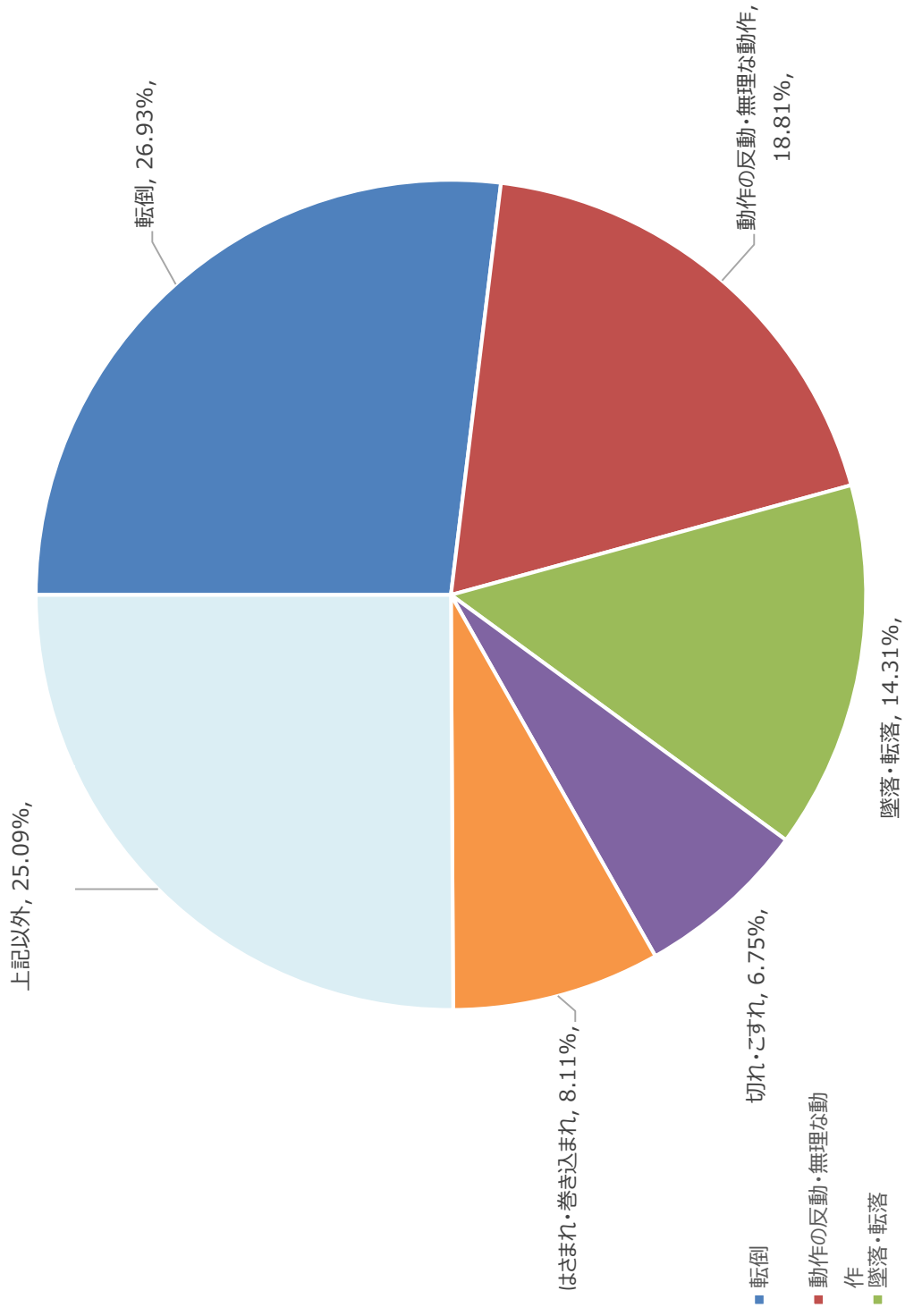
## 休業4日以上の死傷災害

・休業4日以上の労働災害は、昭和47年以降で過去最多となった。



(注) 1 休業4日以上の死傷者数は労働者死傷病報告による。  
 2 平成6年以前について、商業及び接客娯楽業は他業種に含まれる。  
 3 平成9年以前について、保健衛生業は他業種に含まれる。

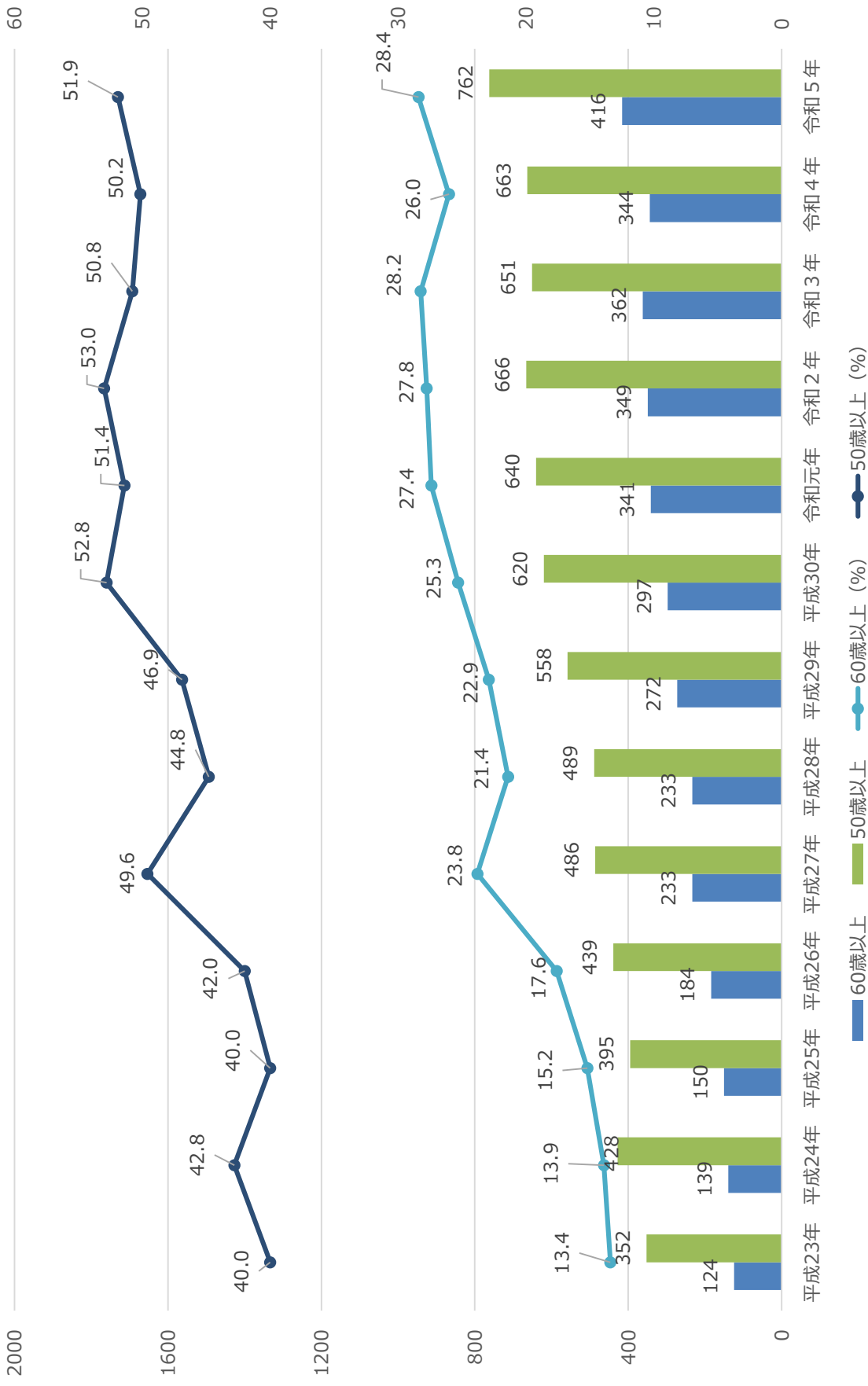
# 1 沖縄県内の労働災害発生状況（令和5年の県内における事故の型別労働災害発生状況）



※死傷者数は労働者死傷病報告による

# 1 沖縄県内の労働災害発生状況

## (県内における高年齢労働者等の労働災害発生状況の推移：休業4日以上・全産業)



※折線グラフは死傷者（休業4日以上）全年齢（全体）に占める年齢層別死傷者の割合を示す。

※死傷者数：労働者死傷病報告による

# 令和6年業種別署別労働災害発生状況(5月末累計) (新型コロナウイルス感染症を除く)

沖縄労働局

業種	令和6年(5月末累計)						令和5年(5月末累計)						局計対令和5年比較	
	那覇	沖縄	名護	宮古	八重山	局計	那覇	沖縄	名護	宮古	八重山	局計	増減数(人)	増減率(%)
製造業	28	30	9(1)	6	2	(1) 75	28	26	4	1	1	(0) 60	15	25.0
食料品製造業	13	20	6(1)	5	1	(1) 45	17	15	4			(0) 36	9	25.0
鉱業						(0) 0						(0) 0	0	-
建設業	29	24(1)	6(1)	8	2	(2) 69	34(3)	29	3	1	5	(3) 72	▽3	▽4.2
土木工事業	2	7			1	(0) 10	7	4	1		2	(0) 14	▽4	▽28.6
建築工事業	23	13(1)	4(1)	8		(2) 48	17(2)	21	2	1	2	(2) 43	5	11.6
交通運輸事業	9					(0) 9	7				1	(0) 8	1	12.5
陸上貨物運送事業	25	8				(0) 33	14	5		1		(0) 20	13	65.0
港湾荷役業						(0) 0	2		1		1	(0) 4	▽4	▽100.0
林業					1	(0) 1	1					(0) 2	▽1	▽50.0
農業、畜産・水産業	1	2	2			(0) 5	4	1	1		3	(0) 9	▽4	▽44.4
第三次産業(運輸を除く)	141	91	8	13	17	(0) 270	141	91	18	15	19	(0) 284	▽14	▽4.9
商業	45	25	4	1	1	(0) 76	43	26		1	4	(0) 74	2	2.7
小売業	26	22	4	1	1	(0) 54	22	22		1	2	(0) 47	7	14.9
接客娯楽業	15	16	3	6	7	(0) 47	14	17	7	4	4	(0) 46	1	2.2
旅館・ホテル	2	4	2	4	3	(0) 15	4	4	4	3	2	(0) 17	▽2	▽11.8
飲食店	9	10			2	(0) 21	7	9	2		2	(0) 20	1	5.0
保健衛生業	34	17	1	3	4	(0) 59	34	27	5		4	(0) 70	▽11	▽15.7
社会福祉施設	27	15	1	2	4	(0) 49	25	21	4		4	(0) 54	▽5	▽9.3
ビルメンテナンス業	11	8		2	1	(0) 22	15	2	2	6	3	(0) 28	▽6	▽21.4
その他の業種	36	25		1	4	(0) 66	35	19	4	4	4	(0) 66	0	0.0
全産業	(0) 233	(0) 155	(1) 25	(2) 27	(0) 22	(3) 462	(0) 231	(3) 152	(0) 27	(0) 19	(0) 30	(3) 459	3	0.7

(注) 1. 労働者死傷病報告により作成したもの。  
 2. 被災者数の枠の左側( )は死亡者数で内数。  
 3. 「▽」は減少を示す。  
 4. 交通運輸事業は、鉄道・軌道・水運・航空業、道路旅客運送業を示す。  
 5. 陸上貨物運送事業は、道路貨物運送業、その他の運輸交通業及び港湾荷役業を除く貨物取扱業を示す。  
 6. その他の業種は、金融広告業、映画・演劇業、通信業、教育研究、清掃・と畜(ビルメン除く)、官公署、その他の事業を示す。

# 令和6年業種別事故型別労働災害発生状況(5月末累計)

(新型コロナウイルス感染症を除く)

沖縄労働局

業種	事故の型										合計										
	1 墜落・転落	2 転倒	3 激突	4 飛来・落下	5 崩壊・倒壊	6 激突され	7 はさまれ・巻き込まれ	8 切れ・こすれ	9 踏み抜き	10 おぼれ		11 高温・低温の物との接触	12 有害物等との接触	13 感電	14 爆発	15 破裂	16 火災	17 交通事故(道路)	18 交通事故(その他)	19 動作の反動・無理な動作	90 その他
製造業	14	10	6	7		(1) 12	13			3						1		7	1	1	(1) 75
食料品製造業	5	9	4	5		(1) 7	6			3								5	1		(1) 45
鉱業																					(0) 0
建設業	(2) 27	8	6	7	2	3	8			1								4			(2) 69
土木工事業	4	2		1			2											1			(0) 10
建築工事業	(2) 20	4	4	5	2	3	1	6		1								2			(2) 48
交通運輸事業	1	1	2				1											3		1	(0) 9
陸上貨物運送事業	3	9	5	2	1	3	2			1		1						5		1	(0) 33
港湾荷役業																					(0) 0
林業							1														(0) 1
農業、畜産・水産業	2					2														1	(0) 5
第三次産業(運輸を除く)	20	101	18	6	1	8	17			7						10		58	6		(0) 270
商業	3	28	4	2	1	5	7			2						2		12	1		(0) 76
小売業	2	28	4	1		3	5			1						1		6	1		(0) 54
接客娯楽業	2	15	5	1		2	4			4						2		7	1		(0) 47
旅館・ホテル	1	6		1		1	2									1		3			(0) 15
飲食店	1	4	4				3			4						1		3	1		(0) 21
保健衛生業	4	28	4			1				1								18	3		(0) 59
社会福祉施設	4	28	3							1								11	2		(0) 49
ビルメンテナンス業	4	11	1	1			1											4			(0) 22
その他の業種	7	19	4	2		1	4	5								6		17	1		(0) 66
全産業	(2) 67	(0) 129	(0) 37	(0) 22	(0) 4	(0) 14	(1) 37	(0) 40	(0) 0	(0) 12	(0) 0	(0) 1	(0) 0	(0) 0	(0) 0	(0) 11	(0) 0	(0) 77	(0) 8	(0) 3	(3) 462

(注) 1 労働者死傷病報告により作成したもの。

2 被災者数の枠の左側( )は死亡者数で内数。

3 交通運輸事業は、鉄道・軌道・水運・航空業、道路旅客運送業を示す。

4 陸上貨物運送事業は、道路貨物運送業、その他の運輸交通業及び港湾荷役業を除く貨物取扱業を示す。

5 その他の業種は、金融広告業、映画・演劇業、通信業、教育研究、清掃・と畜(ヒルメ除く)、官公署、その他の事業を示す。

# 令和6年業種別事故型別労働災害発生状況(5月末累計)(対前年比の増減数)

(新型コロナウイルス感染症を除く)

沖縄労働局

業種	事故の型		対前年比の増減数																	合計			
	1 墜落・転落	2 転倒	3 激突	4 飛来・落下	5 崩壊・倒壊	6 激突され	7 はさまれ・巻き込まれ	8 切れ・こすれ	9 踏み抜き	10 おぼれ	11 高温・低温の物との接触	12 有害物等との接触	13 感電	14 爆発	15 破裂	16 火災	17 交通事故(道路)	18 交通事故(その他)	19 動作の反動・無理な動作		90 その他	99 分類不能	
製造業	6	▽5	2	4			(1)▽2	9			1	▽1					1					(1)	15
	2			3			(1)	2			2	▽1						1			1	(1)	9
食品製造業																						(0)	0
																						▽(1)	▽3
建設業	(2)7	2	6	▽4	▽(1)▽1	▽(1)▽4	▽(1)▽4	▽1					▽1				▽3					(0)	▽4
		2						▽2			▽1						▽3					(0)	▽4
土木工事業																						(0)	5
	(2)9	▽2	4	▽5	▽(1)▽1	▽(1)2	▽2	▽1			1											(0)	5
建築工事業	▽1	▽1	2																			(0)	1
																						(0)	1
交通運輸事業	1	4	5	1			▽2					▽1										(0)	13
	▽2	▽1					▽1															(0)	▽4
港湾荷役業																						(0)	▽4
																						(0)	▽1
林業																						(0)	▽4
																						(0)	▽1
農業・畜産・水産業	1	▽1					▽3	1	▽1													(0)	▽4
	▽17	13	4	▽2	▽2	2	▽3	▽2	▽1		▽3	▽1					▽2	▽2				(0)	▽14
第三次産業(運輸を除く)	▽9	5	▽1				▽1	5									▽1	▽1				(0)	2
	▽2	13					▽1	3	▽1		▽1						▽2	▽1				(0)	7
小売業	▽7	2	5	▽2																		(0)	1
	▽4	2																				(0)	▽2
接客娯楽業																						(0)	1
																						(0)	▽2
旅館・ホテル																						(0)	1
																						(0)	1
飲食店																						(0)	1
																						(0)	1
保健衛生業																						(0)	1
																						(0)	1
社会福祉施設																						(0)	1
																						(0)	1
ビルメンテナンス業																						(0)	1
																						(0)	1
その他の業種	▽1	2	3	1			▽1	▽5	2		▽1						1	▽1				(0)	0
	(2)▽5	(0)10	(0)19	(0)▽1	▽(1)▽3	▽(1)▽6	(0)▽11	(0)6	(0)▽1	(0)0	(0)▽1	(0)▽3	(0)0	(0)▽3	(0)0	(0)0	(0)▽4	(0)▽2	(0)10	(0)2	(0)▽4	(0)3	

(注) 1 労働者死傷病報告により作成したもの。  
 2 被災者数の枠の左側( )は死亡者数で内数。  
 3 交通運輸事業は、鉄道・軌道・水運・航空業、道路旅客運送業を示す。  
 4 陸上貨物運送事業は、道路貨物運送業、その他の運輸交通業及び港湾荷役業を除く貨物取扱業を示す。  
 5 その他の業種は、金融広告業、映画・演劇業、通信業、教育研究、清掃と畜(ビル除く)、官公署、その他の事業を示す。



# 取組事例 転倒災害防止部門



1 社会医療法人ペガサス 保健衛生業 従業員規模 300～ 大阪 ゴールド賞

## ペガサス100人100回 起立着座訓練の実施！！



2021年7月～9月の期間において、転倒災害が2件発生しており、転倒災害を減らすための会議を実施。



職員に転倒災害が起きている問題の共有を行い、転倒災害対策の検討を行った。検討の結果、効率的に筋力増強ができる手段が良いとの意見がまとまり、医師、理学療法士、作業療法士等をはじめとする検討チームを発足し、具体的な実施方法について、討議を行った結果、ペガサスグループの職員100名（多職種）による起立着座訓練の動画を作成することとした。多職種（医師、看護師、リハビリスタッフ、保育士、検査技師等）が登場する動画を撮影し、職員に向けて周知し、公開を行った。



2022年7月～9月の期間において、転倒災害は0件（前年度2件）となり、効果があった。  
職員にアンケートを実施し、「立って座るだけの簡単な運動で継続できよう」「日常的な動作であり、無理なくできる」「医学的に推奨されているうえに、身近な職員が登場し、楽しく続けられる」などの意見があり、今後も継続して、転倒災害予防・職員の意識の啓発に努める。

## ポイント

職員の方が持っている高度な専門性を労働安全衛生の取組に活用している点や、様々な職種の方が対策に関わることで、全ての方が転倒災害の問題を自分事としてとらえ、取り組める環境を実現している点が素晴らしいです。



2 イオン北海道株式会社 小売業 従業員規模 300～ 北海道 シルバー賞

「冬のゼロ災運動」で凍結路面の転倒防止！



**冬のゼロ災運動 実施中**

イオン北海道は毎年12月～3月にかけて、凍結路面による転倒災害が顕著です。この時期に発生している転倒災害の約70%を占めています。転倒災害の大半が歩道・凍結路面、凍結路面での転倒災害が顕著です。歩道・凍結路面での転倒災害を防止するために、「冬のゼロ災運動」を実施いたします。

● 実施期間 12月1日～3月31日

● 重点対象 通勤途中及び店舗敷地内の転倒災害

● 取組目標 冬の転倒災害発生率を50%に低下

**特徴① 転倒災害は「歩道」で多発！！**

● 歩道に発生している転倒災害の約70%を占めています。転倒災害の大半が歩道・凍結路面、凍結路面での転倒災害が顕著です。歩道・凍結路面での転倒災害を防止するために、「冬のゼロ災運動」を実施いたします。

**特徴② 転倒災害は「出社時」に多発！！**

● 転倒災害の約30%は通勤途中に発生しています。通勤途中に発生している転倒災害の約70%を占めています。通勤途中に発生している転倒災害を防止するために、「冬のゼロ災運動」を実施いたします。

**特徴③ 転倒災害で「骨折」が多発！！**

● 転倒災害の約30%は骨折によるものです。骨折による転倒災害は、転倒災害全体の約10%を占めています。骨折による転倒災害を防止するために、「冬のゼロ災運動」を実施いたします。

**特徴④ 転倒災害は50代以上が要注意！！**

● 転倒災害の約30%は50代以上の高齢者です。高齢者は転倒災害のリスクが高いため、転倒災害を防止するために、「冬のゼロ災運動」を実施いたします。



雪国の天敵は「雪」です。毎年、多くの従業員が「雪」や「凍結路面」が原因で転倒し、ケガをしています。

そしてそのケガは「骨折」など重篤化することが多く、年度最大の繁忙期「年末商戦」に勤務できないことも……

転倒リスクを軽減するために・・・

①前年度の「転倒災害」の傾向を徹底的に調べました。(時間・場所・年齢など)

②ポスターを作成し、従業員に「傾向」と「防止対策」を周知しました。

分析を継続し、冬期間「安心・安全」に働ける環境づくりを行います。

ポイント

雪や凍結による労働災害は、転倒災害の7%程度を占めています。対策を労働者個人に任せるのではなく、企業の課題として取り組まれている点が評価されました。



3 JFEスチール株式会社 西日本製鉄所(倉敷地区) 安全健康室ヘルスサポートセンター 製造業 従業員規模 300～ 岡山 ブロンズ賞

安全な作業に必要な体力の視点から転倒予防！「安全体力®」の把握と維持・改善



弊社統合の2003年前後、転倒災害被災者の約半分が中高年齢労働者であった。そこで安全に作業を行うために必要な体力を安全体力と定義し、全従業員の安全体力を把握・改善するため独自の5段階評価を示した安全体力機能テスト(2004年～7項目)と転倒予防体操(2009年～15時/毎日)を開発し実施している。転倒リスクは3項目で評価し、毎年の健康診断時に全従業員が実施している。評価1.2の低体力者および筋骨格系疾患による中止者について、改善のための運動指導を行い再測定や産業医面談でフォローしている。転倒経験者は非経験者に比べ低体力者の割合が多く、本テストの有用性も示された。また、転倒予防体操を開発し、この体操が転倒リスクテスト3項目を改善させることを確認し、全職場に展開している。行動災害のひとつである転倒災害を予防するため、これらの活動を約20年間取り組んだ結果、倉敷地区における50歳以上の転倒災害は減少傾向にある。

◆「安全体力®」機能テスト

転倒リスクテスト(3項目)

1. 転倒立ち上がりテスト 2. ステップテスト 3. バランステスト

◆5段階評価の概念とフォロー体制

評価2「注意域」指導  
評価1「危険域」指導・再測定・面談

◆転倒予防体操 「アクティブ体操®」part II

◆体力低下が原因と推定される50歳以上の転倒災害の推移(倉敷地区)

50歳以上の転倒災害は減少傾向  
\*労働災害報告体制が変更された2006年からの推移

ポイント

転倒災害の防止のためには職場の環境改善だけでなく、労働者の方の身体機能の維持向上の取組も不可欠です。そのための実効的な仕組みを構築し、既に約20年間も運用されている点が評価されました。



4	株式会社カインズ	小売業	従業員規模 300～	埼玉	ブロック賞 (関東ブロック)
---	----------	-----	---------------	----	-------------------

**転倒事故を削減！「一段踏み台、二段踏み台」の導入**

**【目的】**

・過去の労働災害や店舗でのヒヤリハットを分析し、転倒・転落災害を削減するべく、踏み面を広くし、持ち手を備えたことで、より安全性の高い「一段踏み台」と「二段踏み台」を開発し、店舗へ導入

**【ポイント】**

・カインズ独自の開発踏み台（過去の労働災害やヒヤリハットを分析して開発）  
 ・踏み面を広くしたことで安定感アップ  
 ・持ち手兼手すりを取り付けたことで、より安全に昇降が可能  
 ・アルミ製のため、女性でも簡単に持ち運びが可能  
 ・踏み台の乗ると自重で沈み込み、脚が床面にしっかりと設置し、安全性が向上

**【一段踏み台】**

**【二段踏み台】**

**ポイント**

踏み台から降りる際の「踏み外し」による転落災害は全国的に増加しています。その対策のための優れた器材を開発されています。



5	社会福祉法人 寿光会	保健衛生業	従業員規模 100～299	島根	ブロック賞 (中国・四国・九州・沖縄ブロック)
---	------------	-------	------------------	----	----------------------------

**安全パトロールによる職場内の環境整備**

毎年、残念ながら職場内での転倒による労働災害が続いております。事故発生後に、検討委員会を開催し対処してきました。令和元年度より、衛生委員会の主体により「職場内の安全パトロール」を実施し、複数の視点でパトロールをすることにより「職場内の転倒の可能性がある危険箇所」の改善を事前に行うようになりました。転倒箇所の整備だけでなく、転倒しない健康づくりへの取り組みもはじまりました。安全パトロールを実施したことをきっかけとし、管理者が率先して4S活動（「整理」「整頓」「清掃」「清拭」）の促進に努めています。

**安全パトロール**

- ★複数の視点
  - 施設長（管理者）
  - 衛生管理者
  - 衛生委員会メンバー
- ★労働災害現場の確認
- ★危険箇所の把握及び改善

**ライトの設置**

**マットを敷く**

**転倒をしない健康づくり**

- ★県や市主催の健康づくり活動
- ★ウォーキングイベントへの団体参加
- ★万歩計の貸し出し
- ★職場内でのラジオ体操の実施

**積雪の注意喚起**

**すべらない靴の支給**

**ポイント**

保健衛生業での「安全パトロール」は、先進的な取組です。



6 株式会社ササキ 製造業 従業員規模 100～299 山梨 ブロック賞 (東海・北陸ブロック)

ベテランず体力チェック 若い者には負けない！！



経緯としては、■2020年2月 厚生労働省→エイジフレンドリーガイドライン（高年齢労働者の安全と健康確保のためのガイドライン）を策定

基づいて、■2021年1月 社長→エイジフレンドリー高年齢労働者の安全と健康確保に関する宣言

そこで、■DEIチームと安全衛生委員会で働く高年齢の特性に配慮したエイジフレンドリーな職場づくり、体力状況の把握のために【体力チェック】毎年実施

■転倒等リスクを自己認識する企画「意外とできた」と安堵する人や「こんなにできないものか」と落胆する人など、結果は様々ですが、毎回来しく実施しています。



結果を展開



3ヶ月以内に実施と継続  
自発的に早朝屋休み仕事終わりを活用して運動！

参加者は平均データを参考に自身の結果を実感→高年齢者の職場事故0件継続中

項目	実施結果平均	評価平均	2021年	評価	2020年	評価
2ステップテスト(m)	303.5	4.6	289.5	4	260	4
階段ステップテスト(回)	38	3.3	33	3	32	3
ファンクショナルリープ(m)	45.80	4.7	56.7	5	46	5
階層片足立ち(秒)	13.76	2	10.73	2	9.37	2
階層片足立ち(秒)	86.12	4	105	4	109	4

※1 改善意があるので、参考までに。

前年と比較して、体力維持の増進・向上につなげ、安心安全で快適な職場環境づくりに活かしています



社内設備で体力づくり

ポイント

「高年齢労働者の安全と健康確保のためのガイドライン（エイジフレンドリーガイドライン）」に基づく取組を着実に進めていただいています。

エイジフレンドリーガイドライン



7 株式会社ベイシア 小売業 従業員規模 300～ 群馬 ブロック賞 (関東ブロック)

転倒防止は基本の「き」から～全員参加で守り合い～ Beisia

スーパーマーケットを中心に運営する弊社では、売場はもちろん、バックヤードにおける転倒事故が多数発生。従業員の高齢化とともに、ちょっとした転倒であっても骨折等の大怪我につながるケースが発生しており、店舗において安全に働いてもらえる環境づくりが急務となっている。

前提として、転倒災害の起因は『人』であり、①従業員が多ければ多いほど発生可能性が高くなる、②職場では誰か1人が注意すれば防止できるものではなく、全員が理解し注意する必要があること、の2点を全店長に教育。厚生労働省の「職場安全サイト」を参考に、各店で各部門従業員リーダーを任命し、「危険マップの作成」「ステッカーの活用」「注意喚起活動の継続」を中心に取り組み。店長主体から従業員主体の取組みにすることで、職場内での自然な声かけにつなげた。各店舗で、従業員が安心・安全に働けるよう、誰かが「注意すれば良い」のではなく全員が「注意できる」環境になるよう仕組化を心がけている。



リーダーによる危険マップの作成。作成時は、ポストイットを活用し意見だし→最終的に一言でまとめたマップを作成し事務所へ提示。



ステッカーに記載する文言は、各店舗オリジナル。従業員自身が考え、ステッカーに記入、危険箇所へ貼り付けの注意喚起を実施。



ステッカーを貼るだけでなく、リーダーを任命することで従業員間でも転倒防止の意識向上につなげている。

ポイント

転倒災害は、多くの方が「他人事」だと思われています。全ての方が転倒災害を「自分事」として意識していただけるような取組となっています。




8 株式会社平和堂 小売業 従業員規模 300～ 滋賀 ブロック賞 (近畿ブロック)



### 油の持ち出し対策！オリジナル「シューズブラシ」開発

デリカ部門ではフライ作業が多い為、靴裏に油分やバター液が付着することで、売り場やバックルームにも油が持ち出され、転倒の一因となってしまいます。そこでデリカシューズ裏に付着した油分や汚れを除去し、売場やバックルーム床の清潔化、デリカシューズの衛生管理維持、**お客様や従業員の転倒防止のために、独自にブラシを開発**しました。

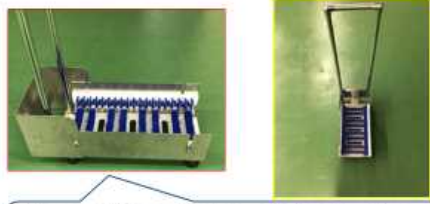
**【従来のブラシ】**



表面用 靴裏用

立ったまま片足を上げて使用するが、靴を脱いで使用する必要がある。

**【新デリカシューズブラシ】 2022年2月全店導入**



靴を履いた状態で、足を動かして汚れを落とします。手すりをつけているので、安全に使用できます。社内の関連部署メンバーが集まり、ブラシメーカー様と改良を重ねました。

### ポイント

転倒の原因となる油分を、安全かつ負担なく除去できる優れた器材を開発されています。



9 株式会社平和堂 小売業 従業員規模 300～ 滋賀 ブロック賞 (近畿ブロック)



### 「転倒アンケート」で危険箇所を発見

平和堂では、労災対策の効果もあり、ここ数年労災事故件数は減少傾向ですが、転倒事故は減っていません。**転倒事故は所属・場所・原因が様々であるだけでなく、年齢により重症度が左右されやすいため、幅広い対策が必要となります。**そこで、2022年度はじめての試みとして「**転倒アンケート**」を全店で一斉に実施しました。**従業員一人ひとりの感受性の向上と、店舗での対策、会社全体の対策**につなげ、より風通しが良く、安全で働きやすい職場環境を目指します。



⇒回答数5,336件を店舗にフィードバックし、危険箇所の特定と改善を進めた結果、「転倒しそうまたは転倒した」回答2,839件のうち、2,132件の場所の特定が進み、1,730件について店舗で改善が進みました。店舗で改善が困難な事案は本部で対策を検討しています。

【転倒アンケート】改善報告まとめ

アンケート実施店	回答数		転倒箇所特定について		改善状況	
	回答数	有効回答数	特定箇所数	特定率	改善箇所数	改善率
全店舗	5,336	2,839	2,132	74.7%	1,730	79.3%
滋賀県	104	50	37	74%	31	82.5%
京都府	118	60	38	63.3%	21	35%
兵庫県	247	124	74	59.7%	6	4.8%
大阪府	514	252	151	59.5%	26	10.3%
奈良県	280	131	84	63.3%	7	5.3%
和歌山県	244	120	61	50.8%	16	13.3%
徳島県	108	53	30	56.6%	9	31.4%

「smartHR」及び「店頭ポスター」

### ポイント

転倒を事業所（店舗）個別の問題とせず、企業全体でリスクを調査され、有効な対策を全社的に講じられています。

背景  
(課題・ニーズ)

グループ会社で店頭美容部員による転倒災害が増加

⇒ 美容部員に、いかに転倒災害へ当事者意識を持っていただくか

取り組んだ  
プロジェクト内容

全美容部員約3,800名へ、動画で転倒防止啓発を実施 (各10分×年3回)

### 前半: 情報提供 (5分)

視聴者の当事者意識醸成のため  
**職種特性**にあわせた内容も発信  
(例) 勤務用と通勤用で靴を分ける

#### 環境面の対策

- ① 通路に荷物を放置しない  
 ✓ 荷物を足元に置かない  
 ✓ 定期的に荷物を整理する
- ② 通勤用や通勤に合わせた靴を履く  
 ✓ 通勤に合わせた靴を履く  
 ✓ 自分自身にあった靴を選ぶ
- ③ リスクのある場所を確認する  
 ✓ スーパー前まで歩かない場所について確認を受ける

視聴者の記憶に残るよう  
担当者2名によるQ&A方式で進行

### 後半: セルフチェック&トレーニング (5分)

『転びの予防  
体力チェック』  
(中災防)を基に  
セルフチェック

【やってみよう】セルフチェック  
動画の中で、動画・動画のセルフチェックを学ぶためのよう



花王陸上競技部OB  
が測定項目に  
沿ったトレーニング  
を指導・実演

セルフチェックの測定項目

1. 座位ステップテスト(第1弾)  
 俊敏性の測定
2. 閉眼片足立ち(第1弾)  
 静的バランスの測定
3. ステップテスト(第2弾)  
 歩行能力の測定
4. フランクリンボールリーチ(第3弾)  
 動的バランスの測定

※1～10月累計

やってみての効果  
今後の目標や展望

転倒災害の発生件数が前年から**65%減少**

2022年: 20件 ⇒ 2023年: **7件** (※1～10月累計)

グループ全体へ波及させ、転倒災害ゼロ化 (現在、別のグループ会社1社でも水平展開中)

# 安全活動のデータベース化 「みんなの“いいね”集」活用による転倒防止

## 背景 (課題・ニーズ)

工事中の安全活動の内容を「みんなの“いいね集”」と題して、Microsoft Teams を活用した安全活動のデータベース化を2020年から推進している。課内メンバーに加えて工事協力会社（13社）にも定期的な研修会と勉強会にて水平展開を行い、新たな発想の誘発に繋げている。また相互の意見やアイデアの創出で連帯感を育むコミュニケーションのツールとしても有効手段となっている。「みんなの“いいね集”」から見える安全コンクールにも2016年から継続して応募している。本事例は、雨水ポンプ場電気設備工事から選抜した。（1）散歩する市民の転倒防止 （2）作業中の転倒防止 （3）維持管理中の転倒防止 （4）体幹強化による転倒防止 の活動アイテムになっている。

### みんなの“いいね”集

・現場代理人「研修会」での水平展開

### 1. 散歩する市民の転倒防止

旧入場ゲートの支柱跡（突出部）をカットし、モルタル仕上げ

町内パトロールでも感謝された

### 2. 作業中の転倒防止

・トリックアートによる視認性向上

・ソーラー回転台と点滅ランプによる安全標識

### ・クッション材と回転ランプによる転倒防止

### 3. 維持管理中の転倒防止

・内側固定による躓き防止

既設は外側固定

スリットチユープの使用

内側の固定で躓き防止

・切り欠き幅の狭小化による転倒防止

### 4. 体幹強化による転倒防止

・バランスボールの活用

・社内ウォーキングイベントへの参加



社会福祉法人  
東北福祉会  
せんだんの社

# 効果絶大!! 職員で作る転倒防止ハザードマップ

事業者名：社会福祉法人東北福祉会  
業界・業種：医療・福祉  
従業員規模：およそ550人  
地域：東北/宮城

## 1. せんだんの社の転倒事故事例

# 転倒

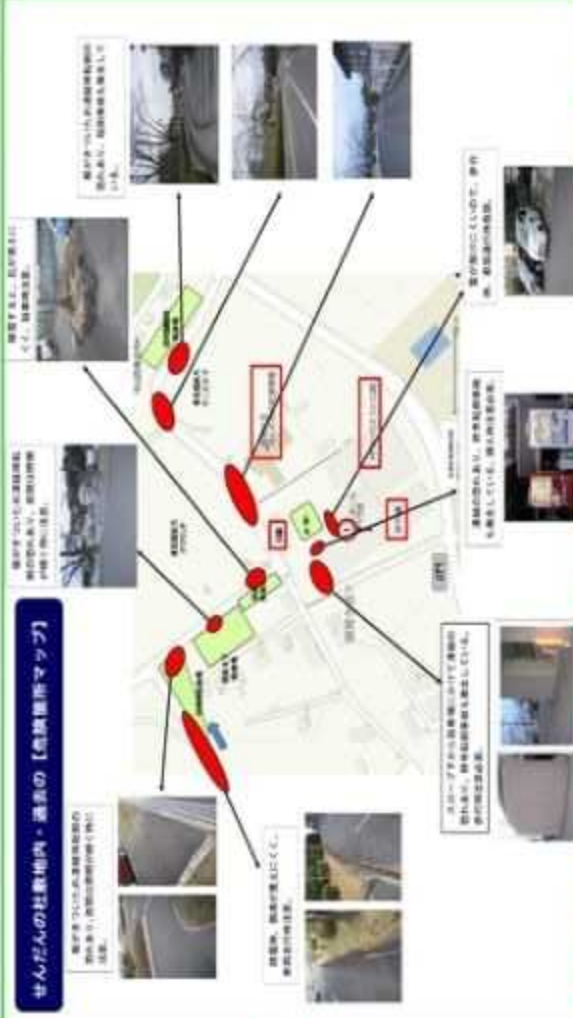


せんだんの社の位置する仙台市青葉区  
国見ヶ丘は、市内でも比較的標高が高  
く、雪が多い地域。



朝・夕の通勤時等、通勤ルートや駐  
車場での転倒事故が多発しました。

## 2. せんだんの社 転倒防止ハザードマップ



衛生委員会の取組で  
職員が自作してくれた  
ハザードマップ

過去の労災事例や、歩行以外の注意点も記載され、写真付きで実用的でした。

## 3. ハザードマップ活用の効果

- ◆設置場所  
出退勤時利用する通用口の掲示版など職員が毎日利用する場所
- ◆効果  
1) 職員が危険な場所を把握しやすくなりました。  
2) ハザードマップを日々目にする事で、転倒防止の意識付けとなりました。  
3) ハザードマップ設置後、職員転倒事故が減少しました。特に冬季の効果は絶大です。
- ◆付加価値  
職員の代表者である委員が作成したことで「職場からやらされている」ではなく「自分たちが作った」という当事者意識が育まれ、他の安全活動へも繋がりました。

## 4. 自分たちと会社で取り組む、安心・安全な職場作り



職員と会社が一体的に取り組む良い職場作りを行い、より良いサービスへ繋げて行きたいと考えております。



# 取組事例 ウェルビーイング部門



1	株式会社カインズ	小売業	従業員規模 300～	埼玉	ゴールド賞
---	----------	-----	---------------	----	-------

**事故を未然に予見する！KYT活動（危険予知トレーニング）** **CAINZ**

**【背景】**

- ・店舗メンバー：約24,000人が在籍
- ・パート、アルバイトへの安全教育が行き届いていない
- ・店舗規模（従業員数）が30人～250人と格差が大きい

**【内容】**

- ・デジタルツール「Forms」を利用し、システム開発費用はなし
- ・店舗用スマホ型端末を使用し、個々の労働者のスケジュールに合わせて危険予知トレーニングを実施できる
- ・前月の労働災害を題材にすることが可能であり、毎月繰り返し実施する事で継続的な教育ができる

**【目的】**

- ・危険予知ができるメンバーを育成し、事故を予見することで未然に防止する

**12月度KYT（危険予知トレーニング）活動**



※毎月、15～25問前後出題

**【回答選択式】**

- カゴ車の車輪で足を踏む
- カゴ車が転倒して下敷きになる
- カゴ車の底板が抜ける

**【対象人数】** 全店舗（24,000人）

**【定量的効果】**

- ・月間平均実施率：88%
- ・月間平均実施人数：約20,000～21,000人

## ポイント

デジタル技術も活用しパートやアルバイト等の多様な働き方に対応した安全衛生教育を推進されています。対話型の教育で高い教育効果が見込まれる点も評価されています。



2 イオン東北株式会社 小売業 従業員規模 300～ 秋田 シルバー賞

### 全社一体の改善サイクルによる安全活動の定着化

**AEON**  
イオン東北株式会社

本社の各部署が連携した組織力(本社力)と店舗の自主的な安全活動(現場力)の両輪で、全社一体となったマネジメントサイクルを確立し、安全活動の定着化を図っています。  
ポイントは4つです。

- ①全店共通の継続した労災防止策・改善策の実施、②本社各部署が連携し、店舗の安全活動を推進・サポート
- ③内部統制部門による安全チェックと店舗の自主的な改善活動、④改善事例を全店に水平展開

**【本社】**  
人事

- ・全社安全対策立案
- ・改善事例の水平展開
- ・本社各部署との連携

**【本社】**  
営業

- ・5Sマニュアル作成
- ・取組み状況の確認

**【本社】**  
商品

- ・作業手順書作成

**【本社】**  
経営監査

- ・安全チェック
- ・評価と是正指導

**店舗**

- ・全店共通の安全活動
- ・自主的な改善活動

ポイント

企業として、全ての事業所（店舗）の安全衛生水準の向上にコミットされている点が評価されました。



3 社会福祉法人松美会 保健衛生業 従業員規模 100～299 山口 ブロンズ賞

### 安全・安心な介護職場を「仕組み」で実現！

**社会福祉法人 松美会**

**課題**

- 腰痛をはじめ労災災害が減らない介護職場
- 心的ストレスも多く離職者が多い介護職場

「仕組み」でそれを改善したい！

**具体的な改善にむけた仕組み**

下関市 ノーリフティングケア モデル事業所

<b>技術</b>	<ul style="list-style-type: none"> <li>■ノーリフティングケアの推進</li> <li>持ち上げない 抱えない 上げない 引きずらない介護 ※平成31年より</li> </ul>
<b>環境</b>	<ul style="list-style-type: none"> <li>■自職場の危険源の特定</li> <li>■職場環境の他者点検(年1回) ※平成18年より</li> </ul>
<b>身体</b>	<ul style="list-style-type: none"> <li>■職員の腰痛等健康調査(年2回) ※令和元年より</li> <li>■調査結果に基づき看護職による健康面談</li> </ul>
<b>心</b>	<ul style="list-style-type: none"> <li>■職員の仕事満足度調査(年1回) ※平成17年より</li> <li>■ストレスチェック(部署・職種ごと分析)(年1回)</li> </ul>

すべての介護事業所で**危険源**(職員の安全・安心を阻害している要因)を洗い出した⇒**182個**

危険源について 起こりやすさと影響規模を踏まえて**危険度の優先順位**をつけて対応した

職員一人ひとりが「自分たちの働く職場に潜む危険源」を発見し 対応策を計画し 対応策に取り組み 結果を評価し 改善する(毎年4月に評価し見直す)

**職員一人ひとりの労働安全意識が高まった！**

**結果**

労働災害件数の減少 ⇒ 令和4年度:0件(～12月)  
低い離職率 ⇒ 令和3年度:6.5%

令和4年2月 **労働安全衛生マネジメントシステム ISO45001の認証取得**

「ここなら安心して働ける」と市内唯一の介護福祉士養成校から新年度3名の新卒採用(内定)に至った

ポイント

「労働安全衛生マネジメントシステム (ISO45001)」の認証を取得された、先進的な施設です。

労働安全衛生  
マネジメント  
システムの認証





4	イオン北海道株式会社	小売業	従業員規模 300～	北海道	ブロック賞 (北海道・東北ブロック)
---	------------	-----	---------------	-----	-----------------------

## 「可視化」で防ぐ！労働災害



●危険箇所を「可視化」することで労災発生リスクを防ぐ取り組みを行いました。



**結果**



業務労災発生件数  
昨年対比

**85%**

1点目は「**労災ハザードマップ**」の作成です。以前よりリスクアセスメントや「ヒヤリハット」を実施していますが、もっとわかりやすく、誰にでも伝わるように**全店で「労災ハザードマップ」を作成いたしました。**新人の**雇い入れ教育時**にも使用することができ、リスクがある箇所を口頭ではなく視覚で伝えることができています。

2点目は「**オリジナル危険ステッカー**」の作成です。弊社の労災傾向を分析し、発生頻度の高い労働災害を洗い出しそれに合わせた「**危険ステッカー**」を作成し、掲示を行いました。労災ハザードマップとリンクさせることで、より発生リスクのある場所を伝えるようにしました。

### ポイント

労働災害防止のための基本的かつ重要な手法である、見えにくいリスクの「見える化」に取り組んでいただいています。



5	株式会社万代	小売業	従業員規模 300～	大阪	ブロック賞 (近畿ブロック)
---	--------	-----	---------------	----	-------------------

### 現状の問題点

### 雇入れ時の安全衛生教育の向上

店舗に於ける「雇入れ時の安全衛生教育」はオリジナルDVDを活用した総合教育の後、配属部門に於けるOJTによる教育を実施しているが、入社時の総合教育DVDの制作年度が古く、マニュアルの改定等に適応できていない箇所も多数ありDVDの一新を余儀なくされている状態であった。  
また、内容は入社時の教育としては物足りない状態で、単にDVDを鑑賞するのが「教育」となっている傾向にあった。部門別の労働災害発生状況の傾向や、発生頻度の高い災害等についての「教育」が欠落しており、教育する側の所属長に於いても、資料としては使いにくいDVDとなっていた。  
入社直後は、不慣れた作業からのスタートであり、災害が発生し易い状態となる。新規出店の店舗等に於いては、新人パートナーが大半を占めるため、労働災害が発生し易い傾向があり、雇入れ時教育のレベル向上により、災害を未然に防ぐことが可能となるため、教育ツールの一新は不可欠となっていた。

### 問題点に対する取組内容

- ①直近1年間の部門別労働災害の分析（部位・状態・状況・場所・原因等）
- ②店舗運営部門（店舗支援部門）と、分析結果を共有（店舗トレーナーとの情報交換）
- ③DVDではなく、社内Webを活用した「動画ムービー」でのビジュアル資料の制作（制作スケジュールの策定）
- ④スケジュールに基づき、各部門トレーナーとの打ち合わせ
- ⑤部門別ムービーの原稿（台本）作成（運営部と人事部での最終台本のすり合わせ）
- ⑥ダロサリー・デイリー／農産／水産／畜産／惣菜／ペーカリー／フロントエンド計7部門の動画を制作。  
（演者は現役トレーナーと人事部）また、部門共通項目（マテハン機器の取り扱い等）についての動画も追加
- ⑦全部門の動画の編集作業（冒頭説明（司会者）統一動画の追加やフロント、背景、音響等々の統一作業）
- ⑧7部門に於ける雇入れ時の安全衛生教育ツールが完成（①～⑧に費やした期間：延べ4か月）
- ⑨**社内Web上の「動画閲覧サイト」に（安全衛生教育動画を）掲載し、所属長への周知を経て運用開始**  
※各部門のマニュアル変更、仕様変更等に伴う「動画」コンテンツの改廃については、毎年期首月（3月）開催の「中央安全衛生委員会」で是非を検討し、必要に応じて動画コンテンツを更新する。

### 動画のメリット

各種マニュアル・教育資料等は多数ありますが、『見える化』できているとは言い難く、入社間もない新人に於いては、文書での説明はイメージしづらい個人毎で危険の捉え方も異なります。動画は、誰もが同一目線で危険度を理解することができ、また、リアルな映像は記憶に残るため、自ら危険回避の行動に出るという未然防止に繋がります。



### ポイント

効果的・効率的な安全衛生教育ツールの開発に取り組まれました。教育内容についてもPDCAサイクルを回し、必要な内容にアップデートされる仕組みを構築されています。



6 社会福祉法人あかつき福祉会 保健衛生業 従業員規模 100～299 大阪 ブロック賞 (近畿ブロック)

専門家のアドバイスも活用した労働災害の再発防止対策



★令和3年度より、労働災害の再発防止にむけて1つの施設で労働災害が発生すると「①発生日」「②場所」「③概要」を全施設・全職員に通知して注意喚起をしてきたが、対策は状況をふまえて各施設で検討・実施してもらってきた。

でも、具体的にどういった対策を取れば良いのか、悩んでしまう...

各施設の管理職の悩み

各施設の管理職の悩みを解決するため、令和4年7月より、以下④⑤の情報も合わせて全施設・全職員に通知するようにした。

④労働災害が発生するたび、産業医ほか障害者支援に関して日頃から相談している**作業療法士や心理師などの専門家による再発防止のアドバイス。**

- 産業医、保健師、作業療法士、心理師等の専門家による、この日の業務内容・ストレスを把握し、アドバイス。
- 作業療法士、心理師等の専門家による、この日の業務内容・ストレスを把握し、アドバイス。
- 作業療法士、心理師等の専門家による、この日の業務内容・ストレスを把握し、アドバイス。

⑤専門家からのアドバイスをふまえて、実際に労働災害が発生した施設において検討した今後の具体的な対応策。

- 1日1施設（発生日、発症時間、発症場所、発症原因）を把握し、対策を講ずる。
- 発症原因の把握や発生場所、施設等で発生原因を特定し、対策を講ずる。
- 発生原因の把握や発生場所、施設等で発生原因を特定し、対策を講ずる。

専門家のアドバイスも活用し、対策が共有され、効果的な再発防止策が実現した。

効果

ポイント

法人本部が主体となって、外部の専門家も活用しながら、傘下施設の安全衛生水準の向上のため効果的・効率的な取組を実施されています。

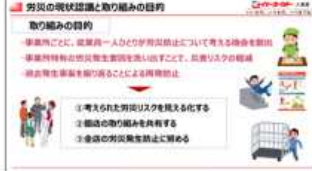


7 株式会社イトーヨーカ堂 小売業 従業員規模 300～ 東京 ブロック賞 (関東ブロック)

労災予防オリジナルポスターの募集 ～各店・各部の取り組みから全社の予防へ～



- 1. 取り組みの考え方**  
各事業所では、管理者や労務担当により、各々の環境を踏まえた労災予防教育を実施している。本企画では店舗、個人の取り組み（従業員教育、環境整備、意識付け等）を全事業所へ共有し、一人ひとりが自分ごととして考える全社的な労災予防につなげていくことを目的に実施。お客様に向けたPOP等の告知力が優れた従業員の取り組み等のパフォーマンスを労災予防促進にも活用ができ身近な労災予防策となりました。
- 2. 取り組み内容**
  - ・6月16日～7月31日応募期間 全127店舗中、42店舗より65作品の応募
  - ・応募全作品を、社内イントラに投稿し従業員が閲覧可能
  - ・応募作品は、労働環境改善プロジェクトメンバーとゾーン責任者で選考を実施し、共有すべき作品を選考
  - ・共有すべき選考作品は、毎月の安全衛生委員会で**全事業所へ案内**し、従業員への予防促進へ活用し、その実施状況を集約し応募者へフィードバックするとともに全店へ予防促進事例として共有
  - ・**身近な仲間が作成したポスターに親近感が湧き予防意識が高まる**等との意見有
  - ・22年度発生件数は微減状況を推移し一定効果を確認。次年度も継続実施の予定



ポイント

コンペによる意識啓発と、集合知の活用を図った安全衛生水準向上のための巧妙な取組です。



8 株式会社デリシア 小売業 従業員規模 300～ 長野 ブロック賞 (東海・北陸ブロック)

## 安全動画で労災防止！



これまで従業員への安全教育は危険箇所や危険作業など書面上でマニュアル化されたものを入社時に教育してきたが、理解度には個人差があり、また教え方も人によって異なっていたため、同様の労災が頻発していた。

日本語が通じづらい外国人技能実習生の雇入れを機に、怪我なくどう安全に作業をしてもらうのかを検討し、安全動画の取組みを始めた。当初は技能実習生向けだったが、全従業員を対象とした安全教育に切替え、今では50本以上の安全動画が完成し、従業員に視聴してもらっている。



- 動画化したことにより
  - 危険な作業を「動作」として認識することができ、誰でも分かり易く、安全作業に対する理解度が高まった。
  - 教育の質が画一化され、教育の差が解消された。

労働災害発生件数は減少傾向

### ポイント

デジタル技術も活用し、外国人労働者も含む多様な働き手に対応した効果的な安全衛生教育を推進され、成果も出されています。



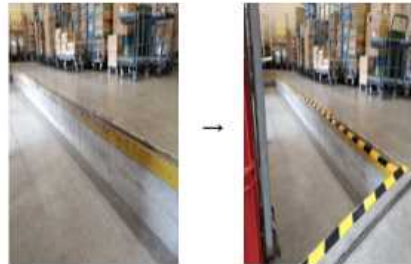
9 株式会社リオン・ドールコーポレーション 小売業 従業員規模 300～ 福島 ブロック賞 (北海道・東北ブロック)

## 安全衛生巡店での改善事項(抜粋)



労働健康安全管理アドバイザー(左)から、店舗責任者が指導説明を受けている

※労働健康安全管理アドバイザーとは、福島産業保健総合支援センター講師で、当社との契約のもとに活動をお願いしている方の社内呼称



商品搬入口とバックヤード通路の段差にトラマークを表示し危険の見える化を図る

このような指導内容を、Teamsのファイル共有機能を用いて本部から全店舗に展開している



店舗で発生した火傷事故の再発防止のためPOPを作成

リオン・ドールグループ別	発生件数	業務災害	通勤災害
平成30年度	58	53	5
令和元年度	62	56	6
令和2年度	49	42	7
令和3年度	65	61	4
令和4年度	31	27	4

※令和4年度は12月31日現在

### ポイント

労働災害防止に係る知見を有する外部の専門家を積極的に活用されています(労働災害防止の専門家として「労働安全・衛生コンサルタント(国家資格)」もご利用ください。)

日本労働安全衛生コンサルタント会





10	サミット株式会社	小売業	従業員規模 300～	東京	ブロック賞 (関東ブロック)
----	----------	-----	---------------	----	-------------------

### 動画を活用して労災事故発生防止！



食品スーパーマーケットというパートタイム社員やアルバイト社員が多い業種のため、入社時の安全教育や継続的な啓蒙活動を、より分かり易く伝えるための動画教材を作成しました。

店舗社員が普段からよく知っている、営業や店舗支援業務を担う部署に属する社員が、自ら説明することでより具体的に伝わりやすい内容となりました。



#### 【その結果】

- ・労災事故の発生防止につながり、新規出店や社員の入れ替わりにより新規入社者が多い中でも、発生件数の千人率は過去最低となっている。
- ・また、伝える内容にブレがなくなり、全店での安全教育のスタンダードレベルのアップにも繋がった。

### ポイント

デジタル技術も活用し、パートやアルバイト等の多様な働き方に対応した安全衛生教育を推進されています。



11	社会福祉法人川福会	保健衛生業	従業員規模 300～	大阪	ブロック賞 (近畿ブロック)
----	-----------	-------	---------------	----	-------------------

路上事故防止のための危険箇所調査（通勤及び業務中を含む）



地域の高齢者福祉という業務の特性から車両を使用することが多く、当法人の労働災害の内、発生場所が路上という事案の数は座視できないレベルにあることから取り組みを実施することとした。

車両等による通勤災害だけでなく、サービス提供中の移動などを含めた、過去10年間の通勤・業務で移動中のトラブル・事故等について調査しその一覧表を作成。

発生場所	発生時刻	発生状況	発生原因	発生場所	発生時刻	発生状況	発生原因
...	...	...	...	...	...	...	...



注意喚起が特に必要と思われる箇所（現場）については、写真や地図を添付し、情報を法人内で共有。

危険箇所の情報共有にて事故防止を図っています。

#### 実施効果

危険箇所の情報共有だけでなく、狭い路地での、対向の際の待機場所などの情報交換等により各職員の意識が向上。全車両へのドライブレコーダーの設置も相まって、運転マナーの向上といった副次的効果も生まれました。

### ポイント

交通労働災害防止のためのヒヤリハット等の共有は有効な取組です。社会福祉施設における取組は先進的です。

交通労働災害の防止  
について



12 イオン北海道株式会社 小売業 従業員規模 300～ 北海道

安全風土を醸成し、労災削減！



**労災ニュース**  
冬期は、「転倒」の事故が多発します。  
① 通勤時、帰宅時の凍結路面で滑って転倒。  
② 店内で、滑けた雪（水）により、滑って転倒。  
転倒の状況は、様々です。店内だからと蓋って、安心できません。  
ケース1：降雪後の歩道です。どこに危険がありますか？  
「予測する」が大切です。



これから気を付けなくてはならない労働災害や、今会社で発生が増えている労働災害を紹介し、その原因や気を付けなくてはならないポイントを紹介しています。  
従業員の方に訳山見てもらうために、食堂や休憩室、労災専用の掲示スペースに貼り付けてもらい周知を行っております。  
これで安全風土を醸成させ、労働災害を削減できる様に継続して発信しています。  
また、日頃より安全意識高めるため、無災害記録表を作成し、目標をもって取り組むようにしています。

**ポイント**

多くの方が「自分は労災とは無縁」と思いがち（その結果労災が発生している）ですが、そうではないという注意喚起を徹底して行っています。

13 イオン北海道株式会社 小売業 従業員規模 300～ 北海道

オリジナル体操で労災対策！



**業務開始前の じゅんび運動**

準備運動をはじめる前に

- Check 1 息をどめず、気持ちよく！
- Check 2 ぶつからない？ 周囲を確認！
- Check 3 痛みはない？ 無理せずに！



会社オリジナルの「準備運動」を作成し、業務中のケガの防止に取り組みました。体温・節温の上昇、関節可動域を広げる、中枢神経の伝達促進、心の準備を目的とし、2分（9メニュー）にまとめています。準備運動時間は、業務時間に含めて実施し、従業員へ重要性を周知します。弊社の労働災害発生件数の約6割は50代以上の従業員です。加齢による運動機能の衰えは避けて通れません。急な動作でケガをする事案が増えています。少しでも発生リスクを削減するべく準備運動に取り組みます。  
準備運動前の注意喚起画像を入れ、①気持ちよく ②周囲を確認 ③無理せずに をポイントとして行いながら、業務が始まるという意識を高めます。

**ポイント**

企業オリジナル体操（開発）も人的資本投資であり、企業価値の向上にも繋がります。

14

光建工業株式会社

建設業

従業員規模  
50～99

福島

建設現場におけるワンコイン(安価)での熱中症対策自販機の展開



【現状の課題】

- ①建設業では夏季の熱中症が多発する。
- ②対策のため塩飴や熱中症グッズの配布をしているが現場の作業員さんが中々手に取らない。
- ③飲料水についても、大量となるため、元請側での補充や温度管理が難しい。



【打開策の検討】

弊社と協力会(「光建会」)にて対策の協議を行った。  
「飲料水の補充・温度管理が難しいのであれば、自販機メーカーに一括依頼をしてはどうか」  
「作業員さんが手に取りづらいのであれば、安全対策費として敢えて赤字でワンコイン(50円又は100円)で売れば、買いやすい手に取って貰いやすいのではないかと」

→具体的な設置へ、自販機メーカーとも協議を重ねる。



【当社・協力会・自販機メーカーの協力成果】



『熱中症対策自販機』の展開を実施！

展開にあたってのポイント

- ①安価な値段にての飲料提供  
(敢えて赤字の金額とし、現場の人が買いやすい金額設定)
- ②ワンコインでの提供  
(50円または100円とすることにより、買いやすいよう配慮)
- ③自販機メーカーの協力により、常に在庫が豊富かつ温度管理がされている状態にキープ。

上記自販機設置現場では、熱中症事故ゼロ達成！



関係する人たち皆が協力し、より魅力的な職場環境へ！

ポイント

自販機会社様の参画も得たwin-winの取組です。

15

有限会社美松運送

陸上貨物運送業

従業員規模  
50～99

北海道

健康への第一歩！地域を歩いてYouTubeに公開



当社は、令和3年9月に健康事業所宣言を行いました。社員の健康増進を図り元気に働ける事業所を目指すため、「生き生き健康事業所」掲げております。

美松運送チャンネル

・会社のことはもちろん、業界のこと、そして、地元藤岡市について、「健康と観光の融合」をテーマに、実際に名所を歩いて当社のYouTubeチャンネルに「健康への第一歩シリーズ」としてアップしています。

健康への第一歩シリーズ ▶ すべて再生

健康増進宣言として、心身に健康であり続けるために1都府県別のスポットをリンクしてぜひから健康第一歩掲げてください。



美松運送チャンネルとリンクして当社のホームページのトピックスコーナーでも「健康への第一歩」を掲載。各種健康にまつわる情報を掲載しています。

また、社内&社外に発信・発行している社内外報・美松運送通信では当社の衛生管理者による「健康マメ知識」コーナーを毎月発行しています。詳細は当社ホームページのバックナンバーに掲載中です。

一般的な社内報とは異なる新聞風スタイルを取り入れています。

HPトピックスコーナー



美松運送通信

ポイント

YouTubeで地域の「おすすめウォーキングスポット」等を発信されており、労働者だけでなく地域の幸せのためのアクションといえます。



16

株式会社カインズ

小売業

従業員規模  
300～

埼玉

事故共有を紙ベースからイラスト動画へ！事故共有動画！



【背景】

- ・朝礼、昼礼等で事例共有をしているものの、アルバイトメンバーまで伝わりにくい環境
- ・事故共有方法が紙ベースの資料で実施していたため、アルバイトメンバーまで浸透しづらい環境
- ・資料の掲示のため、一人ひとりの理解度、認識に格差が発生

【目的】

- ・事故発生後の共有方法を動画（動くイラスト、実際の映像等）に変更することで、**視覚的なインパクトを与え**、文章よりも**記憶に残りやすく**することで、安全最優先な行動へつなげる

【内容】

- ・過去の事故事例や直近の事故事例をイラストを活用し、動く動画を毎月作成
- ・アルバイトメンバーまでの実施率が高い「KYT活動」と連動させる

【対象人数】

全店舗（24,000人）

【定量的効果】

【月間平均視聴人数】  
・約18,000～21,000人



ポイント

デジタル技術も活用しパートやアルバイト等の多様な働き方に対応した安全衛生教育を推進されています。

17

株式会社カインズ

小売業

従業員規模  
300～

埼玉

自律的な店舗安全推進活動！



【背景】

- ・安全最優先といっているものの、同様な事故が繰り返されている
- ・安全に対し、自律的・自発的な行動がとれていない

【目的】

- ・店舗毎の課題に対し、店舗メンバーが**自律的・自発的**に安全最優先な行動が取れる体制を構築し、より安全な店舗環境へつなげ、安全意識の醸成をする

【内容】

- ・安全推進リーダーが中心となり、店舗毎の課題に対しテーマを設定し、毎月安全についてワークショップを開催。対策案を検討・実行し、進捗管理を実施する
- ・毎月、「議事録」「課題確認表」を作成
- ・**好事例を本部で吸い上げ、社内報で紹介。また、水平展開へつなげる**



【対象店舗】

全店舗（220店舗）

【定性的効果】

- ・店舗全体の安全意識が高まってきている
- ・安全だけでなく、全体のコミュニケーションが円滑になった
- ・メンバーが直接安全について話してくれるようになった

ポイント

パートやアルバイト等の多様な労働者の方の意見も反映した安全対策を着実に進められています（労働安全衛生規則第23条の2の措置）。

18 株式会社カインズ 小売業 従業員規模 300～ 埼玉

事故「ゼロ」を目指そう！「3ヶ月無事故運動」



【目的】

・全社をあげての安全に対する意識の向上

【対象期間】

・2022年10月1日（土）～2022年12月31日（土）

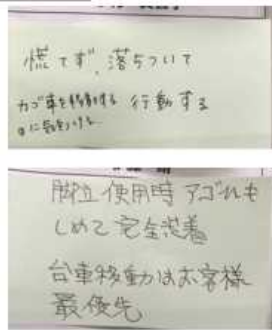
【内容】

・全メンバーが安全に作業するための個人目標を設定し、毎月振り返りを行うことで安全意識を醸成につなげ、可視化する

媒体【ポスター】



個人目標設定



【対象人数】

全店舗（24,000人）

【定量的効果】

2022年10月～11月事故件数：16件  
 2021年10月～11月事故件数：25件  
 2020年10月～11月事故件数：34件  
 2019年10月～11月事故件数：48件  
 ※途中経過のため、2ヶ月間の実績で比較

ポイント

多くの方が「自分は労災とは無縁」と思いがち（その結果労災が発生している）ですが、誰も被災者になり得ることと、そうならないための意識付けをしっかりと行っていただいています。

19 株式会社いなげや 小売業 従業員規模 300～ 東京



「安全衛生チェックリスト」で労災予防！



労災発生予防のために毎月各事業所で行われている産業医巡視の結果から、重要な指摘事項をピックアップし具体的な事例の画像を入れた**安全衛生チェックリストを作成し全事業所に配信**。

各事業所の衛生管理者は安全衛生チェックリストを元に事業所の巡視を行うことにより、産業医視点でのチェック項目を自分の事業所におきかえて確認できるようになり、**産業医からの指摘事項を全事業所で共有**できるようになった。

【その結果】

- ・産業医の指摘事項だけでなく、季節毎の注意事項や、行政からの様々な労災予防策なども安全衛生チェックリストに盛り込むことにより、より幅広い労災予防の情報を全事業所で共有化できるようになった。
- ・各事業所の衛生管理者の労災予防知識を常にアップデートできるようになった。

ポイント

企業として、全ての事業所（店舗）の安全衛生水準の向上にコミットされています。

20 株式会社カクヤス 小売業 従業員規模 300～ 東京

「リアハッチにゴツンッ」防止作戦！！

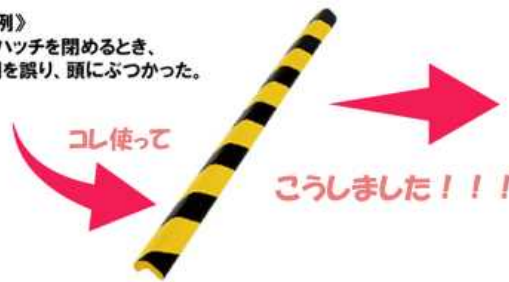


飲食店様、一般消費者などのお客様にお酒を中心とした飲料などを販売配達している当社。店舗より配達する車両（軽バン）のリアハッチに「頭などをぶつける」「指などを挟みこみ」などの労災が発生しています。特に2021年4月～2022年3月には6件のリアハッチに頭をぶつける事故が発生し、6件中5件が、頭から出血し、病院に搬送された労災事故が発生していました。当社ではこのような災害を防止するために、2022年6月よりリアハッチにクッション素材を貼り付けることにしました。この結果、リアハッチに頭をぶつける労働災害は現在までのところ0件となっています。



次に配達先は…。頭にゴツン！！

《事例》リアハッチを閉めるとき、目測を誤り、頭にぶつかった。



コレ使って

こうしました！！



ポイント

見えにくいリスクの「見える化」を工夫されています。リスクの「見える化」は労働災害防止のための基本的かつ重要な手法です。

21 株式会社IHIエスキューブ 通信業 従業員規模 300～ 東京

身近な災害事例を自分ごと化へ！

IHIエスキューブ

～安全衛生スタッフお手製リーフレットで啓発活動～

事務所執務が主であるため、日常の安全衛生意識は薄れがち。。。しかし実際は、建設現場や製造現場に限らず、事務所でも転倒や腰痛などの災害は発生している。今年の年末年始安全衛生強化期間(2022年12月1日～2023年1月15日)は、職場と従業員の安全衛生意識の向上を目的に、お手製リーフレットを全職場に配信。



リーフレットは、各事業所の安全衛生スタッフが厳選した  
①事務所でも起こりうる災害事例の紹介  
②予防のコメント・資料  
を掲載

【職場の反応】  
職場で災害事例を読み合わせし、どんな時に何を気をつけるかを職場メンバー一人ずつに考えてもらう機会になった。

ポイント

一般にデスクワークの方は「自分は労災とは無縁」と考えられる傾向が強いのですが、実際にはIHIエスキューブ様のご指摘のとおり、転倒災害等は職種関係なく発生しています。この観点からの注意喚起は先進的です。

22

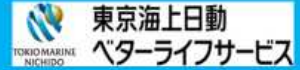
東京海上日動ベターライフサービス株式会社

保健衛生業

従業員規模  
300～

東京

『FAN×FUNプロジェクト』でウェルビーイングな職場環境に！



【目的】「ほうれんそう（報告・連絡・相談）」よりも「ざっそう（雑談・相談）」風土をさらに進化させ、社員の働きやすさの向上、心理的安全性の高い職場環境を実現し、社内外に影響力の輪を広げ、身体的、精神的、社会的に、より満たされた職場を目指す



**FAN FUN Fan×Funプロジェクト**  
ベターライフサービスのファン(Fan)であるスタッフ全員が、職種や雇用形態にとらわれずに、みんなで楽しく(Fun)あらゆる活動することで、もっと社内外にファン(Fan)を増やしていく活動！



- ・Fan×Fun（自分たちが楽しく働くことで地域にファンが増える）の意識の醸成
- ・Fan×Fun で身体的、精神的にも満たされた状態を広く地域社会の皆さんに周知・展開
- ・まじキラ（まじめな話を気楽にする会）等の活動により、メンバーが一体となった運営
  - ⇒ ストレスがたまりがちな介護の職場を、より安心して働くことのできる職場に！
  - ⇒ 生き生きとやりがいを感じることができ、より働きやすい会社へ！

ポイント

ウェルビーイング（個人の権利や自己実現が保障され、身体的、精神的、社会的に良好な状態にあること）な職場の実現のために取り組まれています。

23

社会福祉法人恩賜財団  
東京都同胞援護会

保健衛生業

従業員規模  
300～

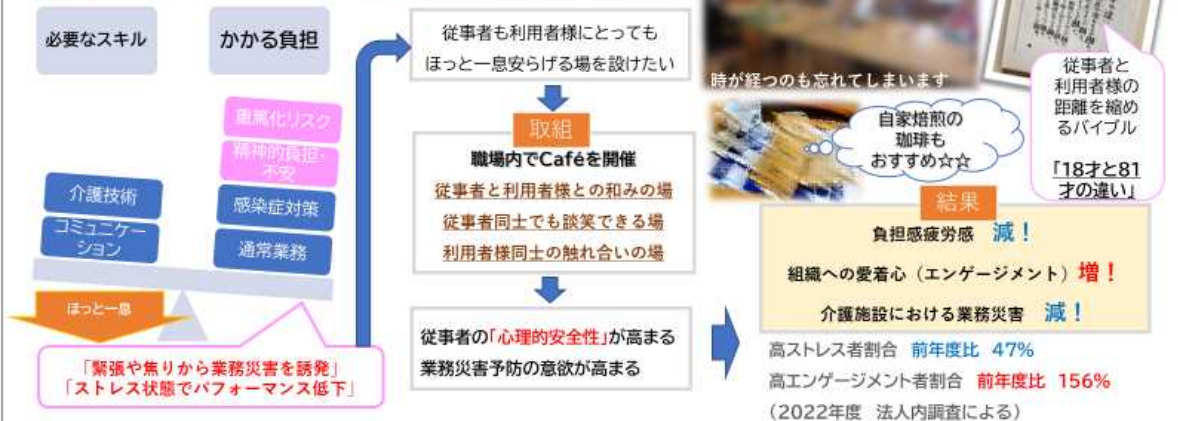
東京

ゆとりある就業環境の確保  
～『ゆたかCafé』でほっと一息～



気持ちの焦りは事故を誘発します。日々時間に追われる介護施設では高い緊張感が続くため、本会では、施設内に『Café』を開き、介護従事者と利用者様がほっと一息をつく時間を設け、従事者のリラクゼーションに努めています。その結果、ミスが減りお互いが助け合える関係ができ、さまざまな業務災害防止につながります。

とある日の『ゆたかCafé』の風景



ポイント

緊張や焦りを原因とする労働災害は介護の現場で数多く発生しており、そのことに着目された先進的な取組です。

介護労働者の  
転倒災害について



24

株式会社利根川産業

その他

従業員規模  
50~99

東京

## ドライバーの不健康が事故を引き起こす！？ 生活習慣改善プロジェクト



当社は東京都内を中心に廃棄物収集及びリサイクルを営んでおります。  
健康で長く働きたいという従業員の声を受け、会社として何か取り組みが必要と感じた。  
特にドライバーの健康管理は事故防止にも通じることから  
今年からドライバーの健康管理を専門とした会社と契約しました。  
生活習慣改善を目的として、  
健康セミナーや管理栄養士との健康面談を通じて、健康改善計画を策定し取り組みを始めました。



### 【その結果】

- ・個人健康目標を策定し1ヶ月に1回自己評価を実施する  
自分で決めたことは行動に繋がりがやすい。体重が減ったという人も出てきた
- ・体組成計を購入し週1回体重測定（体重管理が基本）
- ・会社として健康に関する表彰制度も策定予定

## ポイント

健康保持増進と労働災害防止は密接な関係にあり、取組の効果が期待されます。

25

一般社団法人日本芸能従事者協会

その他

従業員規模  
1~9

東京



## フリーランス芸能従事者のメンタルケア相談窓口を開設！

**開設前** フリーランスの芸能従事者はどこにも相談できずメンタルを病んでいました。調査によると、

- ・仕事に不安がある8.8%
- ・ストレスを感じている9.7%
- ・誹謗中傷され自殺を考えた1.8%

コロナ禍の芸能人の自殺報道8名  
こんな状況で相談窓口相談したことがあるのは、わずか4.1%  
メンタルヘルスカケアが抜け落ちた危険な状況でした。

臨床心理士による相談窓口を開設  
労災保険特別加入者と会員のメンタルヘルスケアを改善促進



ハラスメント  
コロナストレス  
など

よろず相談

芸能従事者特有の働き方に配慮した24時間対応のオンライン相談。相談しにくい理由に4割以上が、「身元が分かるのが怖い」状況に配慮して『身バレ』『声バレ』しないメール形式で、安心して業界外の専門家に相談できるシステムにしました。芸能業界の安全衛生向上、相談体制の確立、ハラスメント対策、自殺防止に役立てるのが目的です。


安全安心



## ポイント

フリーランス・個人事業者の方のメンタルヘルスの取組を進めていただいています。

26	三井不動産商業マネジメント 株式会社ららぽーと 湘南平塚オペレーションセンター	その他	従業員規模 10~29	神奈川
----	---	-----	----------------	-----



## ららぽーと湘南平塚全従業員対象 スマホで答える防火防災クイズ!

**課題**


- 異なる約230社が集まる商業施設内において、それぞれの従業員に対する防火防災等の意識付けや、有事の際の対応などに課題を感じている。
- 日々各店舗の接客や運営などの業務がある中で、自主的に取り組みたくなる施策として全店舗を対象に企画。

- 施設従業員約3,000人を対象に、スマートフォンで回答できる防火防災クイズを定期的に実施。
- クイズに答えて楽しく防火防災について学ぶ施策。
- 成績上位者には豪華な賞品をプレゼント。

- 防火防災に対する意識UP
- 2021年度・2022年度それぞれ2回ずつ実施した。
- 従業員満足度向上

参考：ららぽーと湘南平塚で働いていて嬉しかったこと！(求人広告内特集ページ)

[従業員感想 b1\\_1122 \(mitsui-shopping-park.com\)](https://mitsui-shopping-park.com)



ららぽーと湘南平塚では、従業員のモチベーションがアップするような企画がたくさんあります。例えば、従業員向けにジュースやお菓子が配られたり、従業員クイズに参加するとギフト券がもらえたり...従業員をとっても大切にしているので、また働き始めて3ヶ月ですが、ららぽーと湘南平塚で働いてよかったなと思います。

**ポイント**

デジタル技術を活用した安全衛生の取組を進めていただいています。

27	株式会社ササキ	製造業	従業員規模 100~299	山梨
----	---------	-----	------------------	----



## SASAKI de宅配 ストレス軽減! 働くみんなの買い物サポート

「夕食の支度どうしよう…」  
そんなストレス軽減のために、  
株式会社いちやまマーケットさんの  
“スマホde宅配”をササキの  
形にしたのが“SASAKI de宅配”



職場で食材を受け取れることで、余計な寄り道も不要！  
三密も回避でき、コロナ禍でも安心して利用できます！

**ポイント**

労働者の幸せのためのアクションです。

28

川中島建設株式会社

建設業

従業員規模  
50~99

神奈川

### 作業前のフルハーネス点検装置



作業前に、フルハーネス等が着脱されているかの判断を「AIJO Safety」というアプリケーションを用いて管理しました。このアプリケーションは、AIによりヘルメットやフルハーネスを自動的に着脱の有無を判断してくれるため、設置しておくだけで管理ができます。一人一人管理していくことが理想ではあるが、人数が多い作業場等はそれが難しいため、自動化させていくことで管理漏れや手間を省くこととなりました。



AIJO Safetyパンフレットに記載してあるイメージ図



実際の使用感

### ポイント

安全衛生水準の向上のためにデジタル技術を積極活用されています。  
(第14次労働災害防止計画には安全衛生対策におけるDXの推進が盛り込まれています。)

29

株式会社小宮山土木

建設業

従業員規模  
50~99

長野

従業員が健康で豊かな人生を選べる「きっかけ作り」に挑戦しています！ 株式会社小宮山土木

■社会全体の高齢化が進む中、建設業も例外ではありません。当社では、**健康こそが幸せの第一歩！**と考え、健康経営優良法人を認定取得し、全従業員が一体となって様々な取り組みを行っています！

■その中の取り組みの一つに、毎月「健康情報紙」を発行しています。記事には、実際に見聞した具体的な情報を盛り込んだり、毎月従業員にインタビューをして、その方の仕事への想いや趣味、健康への取り組み等を記事にしています。また、一人ひとりの給与明細に添付することで従業員やご家族の目に留まるよう工夫をしています。

■情報紙によって「あの人の違った一面を知ることができ、コミュニケーションのきっかけになっている」、「あの健康情報を試してみた」との声を聞き、全体の健康意識を高める「きっかけ作り」になったと感じています。

社員、協力業者の皆さんに積極的に情報提供を行っています！



▲従業員の皆さんには毎月の給与明細で

これからも「すべての働く人たちの健康サポートに取り組んでいきます！」

### ポイント

労働者の幸せのためのアクションです。なお、安全衛生の取組は健康経営優良法人の認定要素にもなっています。

30

高木建設株式会社

建設業

従業員規模  
50~99

長野

列 高木建設株式会社

## 建設現場がおもしろい！DX活用で働きがいのある職場に転換！

建設DXとは？ Digital

少子高齢化に伴いどの業界でも人手が足りなくなってきました。建設業でも人手不足なので人ができる事・機械やAIができる事それぞれを生かして現場を進めています。これを建設DX [デジタルトランスフォーメーション] と言います。



**モチベーションが上がらない現場**  
危険で労働環境が過酷な災害復旧現場では職人のモチベーションがなかなか上がりません。そこで思いついたのが現場のDXです。現場所長自ら出来ることはなんでも取り入れようと率先しDXを取り入れました！



**笑顔とやる気のUP**  
さらにチームワークと安全意識が格段に高まりました。今ではその評判から学生の見学会やマスコミを含め総勢250名程の来場をいただいています。

① ドローン空撮や三次元モデルの活用



人も3D!  
手書き図面より時短で正確

② 腕時計型端末で作業員の健康状態をチェック



緊急時も居場所が分かる

③ AIで重機と人の接触事故防止



運転席のモニターに表示

④ 高温箇所見える化で火傷の防止



サーモカメラで安全対策

⑤ 企業専用LINEでチームワーク向上



メールより密に連携

### ポイント

安全衛生水準の向上のためにデジタル技術を積極的に活用されています。

31

株式会社安部日鋼工業

建設業

従業員規模  
10~29

静岡

株式会社 安部日鋼工業  
飯田ONランプ橋作業所

## 打ち合わせシートで事故ゼロの建設現場に

◎建設現場って？

- ・毎日状況が変化
- ・重機が稼働
- ・高所、閉所で作業

従業員は常に  
事故と隣り合わせ

→ 事故を無くすためには…？

充実した打ち合わせによる現場状況の周知が不可欠！

→ そこで！

打ち合わせシート！



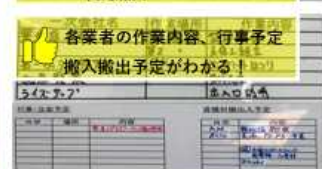
場内図付きで直感的に現場状況がわかる！



2枚1セットで現場の変化が一目瞭然！



マグネット製でみんなが見る場所に掲示できる！



各業者の作業内容、行事予定搬入搬出予定がわかる！



打ち合わせはシートを囲んで和気あいあいと！

◎打ち合わせシートによって！

従業員は常に  
現場状況を把握！  
事故ゼロの安全な建設現場に！

### ポイント

KY等がルーティーンとして毎日着実に行われる仕組みが構築されています。



32

株式会社安部日鋼工業

建設業

従業員規模  
10~29

静岡

株式会社 安部日鋼工業  
飯田ONランプ橋作業所

### 衛生用品の設置で建設現場従事者の「健康を守る」

【建設現場の従事者の特徴として】

- ・高齢者が多く・・・「持病持ちが多い」
- ・飲酒・喫煙者が多く・・・「血圧が高い」
- ・人が密集して・・・「コロナリスクが高い」
- ・汚れることが多く・・・「不衛生である」

これでは危ない！！

健康は自己管理 だから現場従事者それぞれの健康管理に対する意識を向上させたい

どうすれば・・・??

緊急時のためにAEDを設置して守る！  
血圧計で異常を察知して守る！  
非接触体温計で異常を察知して守る！  
非接触型の消毒液でウイルスから守る！

これなら、皆安心して働ける！！

救急箱+AED（自動体外式除細動器）



非接触体温計



血圧計  
非接触消毒液



POINT  
手をかざすだけ  
触らず消毒！  
血圧計は手首で  
らくらく測定！

従事する作業員の声

- ・AEDがあれば万が一のとき安心だ。
- ・タバコ減らそうかな。
- ・今後は食生活も見直そうと思う。

【設置したことで】

健康管理はそれぞれが行わなければならない。  
目に見えた成果が出るわけではないが、  
健康に対する意識向上につながった。

### ポイント

労働者の健康増進のため「ナッジ」による行動変容が図られています。

33

株式会社安部日鋼工業

建設業

従業員規模  
10~29

静岡

株式会社 安部日鋼工業  
飯田ONランプ橋作業所

### 休憩時間を充実させるウォーターサーバー



冬場は・・・



夏場は・・・



水分をとりながら、暖をとりながら、コミュニケーションもとれる!!!

### ポイント

労働者の幸せのためのアクションです（SAFEコンソーシアムは、従業員の幸せのための安全アクションを推進する活動体の名称です。）。

SAFEコンソーシアム  
について



34

株式会社安部日鋼工業

建設業

従業員規模  
10~29

静岡

株式会社 安部日鋼工業  
飯田ONランプ橋作業所

「小学生の生の声」を全員で共有し、安全意識の向上を図る

現場見学会開催

近隣の小学校第1学年 計5クラス148名が、授業の一環として現場見学を行い、後日、画用紙に貼られた手作りのお礼のメッセージカードを生徒全員より頂いた。

メッセージの内容

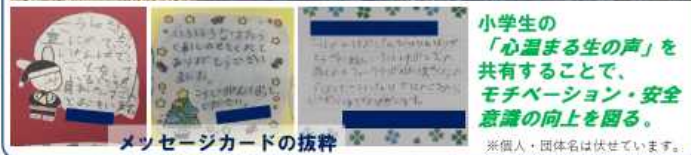
誤字・脱字・乱文もあるが、心温まる内容が多かった。

- ・いろいろな体験ができて楽しかった！また来たい！
- ・大人になったら工事現場で働きたい！
- ・これからもお仕事頑張って下さい！

事務所に掲示するだけでなく、作業員全員で、「生の声」を共有できれば、モチベーションや安全意識の向上に繋がるのではないかと。

横断幕として製作し、休憩所前に掲示することで、作業員全員で「生の声」を共有する。

メッセージカードを屋外に掲示し、全員で共有



小学生の「心温まる生の声」を共有することで、モチベーション・安全意識の向上を図る。  
※個人・団体名は伏せています。

ポイント

安全衛生の目的は誰もが怪我なく安全に家に帰ることです。それを忘れないよう、取り組まれています。

35

株式会社安部日鋼工業

建設業

従業員規模  
10~29

静岡

株式会社 安部日鋼工業  
飯田ONランプ橋作業所

入りたくなるトイレで建設現場の「きたない・きついを払拭」

建設現場に配置される従来のトイレ

- ・汲取り式だから、臭いが・・・「きたない」
- ・男女一緒のトイレなんて・・・「きたない」
- ・夏場のトイレはサウナ状態・・・「きつい」
- ・冬場のトイレは冷蔵庫状態・・・「きつい」

このままじゃダメだ！！

建設現場のトイレを一新することで「きたない・きつい」を払拭したい

どうすれば・・・??

トイレは男女別がいいよね。  
下水は無いけど、  
水洗式にできないかなあ。  
水道はひけないけど、  
ウォシュレット付にできないかなあ。  
家以上のトイレにするには  
冷暖房完備にすればいいじゃん。

これなら、皆入りたくなるよね！！



従事する作業員の声  
・これこそ本当の快適トイレだよ。  
・ストレスの無いトイレって初めて。  
・毎日入りたい(笑)

ポイント

労働者の幸せのためのアクションです。

36	社会福祉法人 杏樹会 特別養護老人ホーム杏樹苑爽風館	保健衛生業	従業員規模 50～99	埼玉
----	-------------------------------	-------	----------------	----

～介護ロボットの導入標準化と活用を考えた取り組み～

=ウェルビーイング（安全衛生）部門=



社会福祉法人 杏樹会  
特別養護老人ホーム杏樹苑爽風館



介護施設にも昨今のICT連携と介護ロボットの活用で業務の効率化や向上が求められる時代になってきています。しかし、こんな介護ロボットがあったら便利なので欲しい、という思いだけで、ロボットありきの購入、そのような導入をすると使用と定着に失敗してしまいがちになります。私達は介護ロボットを適切に導入し定着するための9つのステップを学び、実践することで課題を見える化し、課題解決の打ち手として介護ロボットに求める機能をチームで合意形成することで導入、使用定着、KPIの測定を通じた小さな成功体験の共有とアクションプラン作成により、介護者の経験年数などで偏った対応にならない為の介護の標準化を実施して課題解決を図っています。

「9つのステップ」 I,情報収集 II,組織全体での合意形成 III,実施体制の整備 IV,課題の見える化 V,導入計画づくり VI,試行的導入の準備 VII,試行的な導入 VIII,小さな成功事例の共有 IX,本格的導入に向けた手順書・マニュアル作り

BS法・KJ法を用いた課題の見える化「心に余裕がない」事へのロボットによる打ち手の検討、ロボットに求める5つの機能をチームメンバー全員で合意形成する



様々なメーカーのレクチャーとデモを通じて情報収集し機能を比較  
全ての年代と職種に理解してもらえ施設独自のマニュアルを作成



作成したアクションプランに基づいて行動することで皆余裕を持った判断の対応へと改善していった



介護職員だけでなく多職種に我がこととして目的、内容、機器の取り扱い方を作成したマニュアルを用いて研修を実施し周知を行った



ポイント

安全衛生の確保のためにはテクノロジーの活用も有効ですが、本取組においては、テクノロジーありきではなく、課題の特定とその解決のための手段の導入というステップをきちんと踏まれており、高い効果が期待されます。

37	社会福祉法人あいの土山福祉会 エーデル土山	保健衛生業	従業員規模 100～299	滋賀
----	--------------------------	-------	------------------	----

スタッフファーストへの挑戦！ 人材確保対策室の実践



人材確保対策・労働室

もともと労働人口の少ない土山町において、介護職員の確保は困難を極め、一時は事業継続が危ぶまれる事態に追い込まれた。危機感をもった我々は、どうすれば職員が定着するのかを、毎月定例で1時間協議するPTを立ち上げ、様々な働き方改革を実践した。一時は労基署からは正助告を受けたり、職員不足で閉鎖の危機にあった当事業所が今では、**入職待機者が多数続出するまでに劇的に改善した！**

トリプルゼロの推進

離職率の減少と働きやすい職場を構築すべく、まず我々が取り組んだのが介護職の離職事由である「腰痛・長時間労働・メンタル不調」をなくす取組「**トリプルゼロ**」の推進である。様々な取組を行った結果、職員一人当たりの**平均残業時間は0.25時間/年**、腰痛はゼロ、メンタル疾患もゼロといずれの離職要因もゼロとなっており、**離職率は3%**と全国平均より10%以上低い結果を出すまでになった。



ポイント

安全な職場の実現のための取組を進めていただいています。このような取組は人材の定着にも資するものです。


38

深田サルベージ建設株式会社

建設業

従業員規模  
300～





大阪


**深田サルベージ建設株式会社**  
 FUKADA SALVAGE & MARINE WORKS CO., LTD.

## 「心身の健康づくり計画」を制定し取り組んでいます


当社で制定している「心身の健康づくり計画」の基本方針に従い、従業員とその家族の幸福な生活、活気のある職場を目指して、ライフワークバランスの向上に取り組んでいます。

**【具体的な取り組み】**

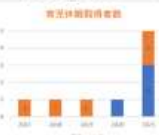
<p><b>適正な労働時間</b></p> <p>週休二日制度導入</p>  <p>ノー残業デーの実施</p> 	<p><b>社員の健康管理</b></p> <p>内閣府 「健康宣言」を 「カエル!ジャパン」行なっています</p> <p>キャンペーン参加</p>  <p>・特に男性社員の育児休暇取得の推奨</p> <p>・毎年ストレスチェックの実施</p> <p>・年末年始・GWなどに有休奨励日設定</p>	<p><b>女性の活躍推進</b></p> <p>女性の役職者比率</p> <p>2018年：5.6%</p> <p>2019年：6.0%</p> <p>2020年：6.8%</p> <p>2021年：7.0%</p> 
--	---	---

**【結果】**

- 有給休暇取得日数 毎年上昇



- 2021年男性社員の育児休暇取得者3名 平均取得日数60.3日



(女性取得率100%維持)

ポイント

労働者の幸せのためのアクションです。


39

社会福祉法人あかつき福祉会

保健衛生業

従業員規模  
100～299

大阪


**あかつき福祉会**  
 AKATSUKI WELFARE ASSOCIATION

## 「健康経営優良法人」認定制度を活用した人材の定着・確保


★人材の「定着」「確保」は労働災害防止の観点からも重要な課題。

①勤続年数が短い職員が多いと、業務への不慣れもあって

②人手不足が続くと、職員の負担が増えていき

労働災害!

が発生しやすい職場になってしまう




でもな...  
どないしたらええん  
やらか...

①職員に長く定着してもらうためには?

他法人と比べても働きやすい職場であることを  
【職員】にどうやってアピールするか...

②多くの求人から選んでもらうためには?

他法人と比べても働きやすい職場であることを  
【求職者】にどうやってアピールするか...



わかりやすいし、  
福祉法人で認定を受け  
てるとちょっといいから  
アピールしやすいわ!

**健康経営優良法人の認定を受けよう!**


<メリット>

①【職員】に、他法人と比べて職員の働きやすい職場づくりに積極的に取り組んでいる法人であることが伝わる。

②【求職者】など外部の人に、働きやすい職場づくりに取り組んでいる法人であることが伝わる。

③認定基準をふまえた更なる取り組みを行うことで、より働きやすい職場づくりに繋がる。

**効果**



(2020年度より認定取得)

①離職率  
認定前と比べて現在は約4%減少。

②採用  
人材派遣会社などの担当者からは「求職者に紹介がしやすくなった」との声をいただき、多くの求職者を紹介していただいている。

ポイント

労働災害防止の取組は健康経営優良法人の認定要素にもなっており、企業価値の向上にも繋がります。

40	社会医療法人ペガサス	保健衛生業	従業員規模 300～	大阪
----	------------	-------	---------------	----

### ペガサストレーニングコーナーでHealthPromotion



社会医療法人  
**ペガサス**

新型コロナウイルス感染症の流行による外出控えなどによって、運動不足の職員が増えており、休憩時間や勤務終了後などに気軽に運動をすることを促すことができないかと考え、職員が自由に利用できるトレーニングコーナーを設置した。ランニングマシンやエアロバイク等のマシンのほか、自動販売機やソファを設置し、休憩できる場所としても提供し、休憩中にちょっとした運動ができるようにバランスボール等の手軽にできる器具なども設置した。











8月16日から利用者集計をはじめ、約3ヶ月で200名を超える職員が利用した。福利厚生と職員の健康増進や運動に関する意識の向上に繋がっており、堺市スポーツ推進課と合同で**体力測定会を令和5年1月に実施**することが決定。

**ポイント**

第14次労働災害防止対策にも盛り込まれている、労働災害防止のための労働者の身体機能の維持向上策（運動の促進等）に取り組んでいただいています。


41	社会医療法人ペガサス	保健衛生業	従業員規模 300～	大阪
----	------------	-------	---------------	----

### ペガサス メンタルサポート



社会医療法人  
**ペガサス**

メンタルヘルスの不調は精神面だけでなく、身体面にも悪影響を及ぼす場合があります。心身の不調から、本来持つ能力が十分に発揮できなくなったり、メンタルヘルス不調が原因で、欠勤や休職、退職に至る場合があります。メンタルヘルス不調は、職員だけでなく、職場や法人全体にも大きな影響を及ぼします。メンタルヘルスの不調は必ずしも個人の性格や考え方に起因するものではありません。メンタルヘルス不調の背景には、ハラスメント、人間関係等の職場環境が要因となっている場合があります。そのため、**メンタルヘルス不調を単に個人の問題と捉えず、個人での取組とともに、法人としてもメンタルヘルス対策に取り組むことが大切**だと考えました。



**ペガサスメンタルサポートセンターのご案内**

このセンターは、職員本人が悩みの解消や相談を受けることが出来るよう、施設内のサポートセンターです。

業務時間内、夜間、休日の緊急対応も実施しております。

相談内容：職場での悩み、人間関係、生活の悩み、健康の悩み、子育ての悩み、介護の悩み、その他、何でも相談可。


相談時間：平日 9時～17時、土日祝日 10時～16時、夜間・休日 24時間対応。


相談場所：本社 1階 相談室、各事業所 相談室。

相談料：無料。

予約：不要。

相談のお願い：相談の際は、ご自身の状況を詳しくお話しください。また、相談内容は厳格に守られます。





ペガサスでは、新入職の方々に**「メンター制度」**でフォローします！

公認心理師・臨床心理士を配置して、職員のメンタルヘルスカケアを行うための**相談窓口を設置**。新入職員に対して、ペガサスメンター制度を導入し、仕事のこと、生活のこと、将来のことなど気軽に相談できる環境を整えた。

職員からは、「仕事以外のことなどでも相談する相手がいることは、心強い」「職場の上司には言いづらいこともあったが、メンターの方に話することができ、心が軽くなった」「誰にも相談できずに困っていた」などの声があり、反響があった。

令和4年度 職員の相談件数78件

**ポイント**

施設だけでなく、法人全体として職場のメンタルヘルス対策にコミットされています。


42 ナガセケムテックス株式会社

製造業

従業員規模  
300～


兵庫

### 労災カレンダーで危険確認！




過去の労災を月別にまとめたカレンダーを作成

過去の労災はどこでどんな  
労災が起こっているの？

さらに労災場所を確認できるMAPを作成



クリックすると労災内容詳細が確認できるExcelを作成



- ★ 労災カレンダーを作成することにより、カレンダーから労災MAPや労災内容の詳細を確認できるよう展開
  - ✓ 誰でも簡単に労災内容を確認できるようになった
  - ✓ 自部署の労災を検索しやすくなり、教育訓練などに活用できるようになった
- ★ 全社員に見てもらうために社内ポータルに掲載
- ★ メールによる労働安全衛生通信の配信を開始

ご安全に!!

## ポイント

労働災害事例の共有は、労働災害防止のための基本的かつ重要な取組です。全ての社員にオープンにしている点が先進的です。

43 株式会社広島トランスポート

陸上貨物運送業

従業員規模  
50～99

広島

### わが社の安全衛生の取り組みについて

■我々（運送業）が抱える課題点

- ・ 長時間労働かつ不規則な労働時間
- ・ 人材不足（ドライバー不足）
- ・ 高齢化

■上記課題点が起因となって発生すること

- ・ 健康問題：高血圧、メタボリックシンドローム、動脈硬化、過労死、S.A.S.（睡眠時無呼吸症候群）...
- ・ 労働災害：交通事故、転落・墜落事故...

⇒従業員に1日でも長く健康に働いてもらうため＝「従業員を大切に！！」

## 健康対策

- ・ ひろしま企業健康宣言への登録⇒健康経営の推進
- ・ 健康診断受診率100%（腫瘍マーカー受診費用半額補助、脳ドック受診義務化（65・68歳））
- ・ 健康保険委員を選任し、健康をテーマにした研修会を受講。内容を社内伝達。
- ・ インフルエンザ予防接種費用補助
- ・ 受動喫煙対策：喫煙所の設置
- ・ 安全会議（年2回開催）にて外部講師による健康づくり講座の開催  
（2018年「長時間労働・睡眠不足」、2019年「メタボリック」、2020年「生活習慣病」、2021年「がん予防」、2022年「ウォーキング」）
- ※2022年（令和4年）度ひろしま企業健康宣言健康づくり優良事業所（シルバー）

## 安全衛生対策

- ・ 安全衛生管理規程策定（2021年4月）：事故・災害発生時の連絡体制
- ・ 事務所内危険箇所の注意喚起：「段差注意」「階段昇降」「フォークリフト」...
- ・ 業主主催の「安全衛生協議会」への管理者出席（月1回）と社内周知
- ・ 安全会議（年2回開催）にて交通安全講習会の開催  
（「日常点検」、「動向によるKYT」、「ドラレコでみる事故防止」...）
- ・ 外部団体による「労働災害防止セミナー」への管理者の受講（トラクタ協会、陸災防）と水準展開
- ・ グリーン経営認証取得（2010年～）
- ・ SDG 宣言（2022年4月～）

## ポイント

労働者の健康と安全の確保のため、あらゆる取組を進めていただいています。

44

株式会社イズミ

小売業

従業員規模  
300～

広島

## 労災を事前に防ぐ 健康な体の維持

you  
me

課題：従業員の高齢化による身体能力、注意力低下。病気による体調不良。

### ヘルスケアアプリ HELPO の導入

ちょっとした体の不調を  
チャットで相談(365日24時間)

オンライン診療サービスで  
受診しやすい環境づくり

### ウォーキングイベント開催

歩行距離が長い人を表彰



気になることはすぐ解決



不調を放置しない



病気になりにくい体づくり

▶まだ効果は出ていませんが、健康な体の維持が労災を事前に防ぐ基本と考え取り組んでおります

## ポイント

デジタル技術を活用して安全衛生対策に取り組んでいただいております。第14次労働災害防止計画にも盛り込まれており、結果が期待されます。

みんなの安全を、  
みんなで守り合う。

# SAFE

## コンソーシアム

— TEAM GOOD SAFE —



### “SAFEコンソーシアムについて”

全てのステークホルダーが一丸となり、安全で健康に働くことのできる  
職場環境の実現を目指す「従業員の幸せのためのSAFEコンソーシアム」  
を設立しました。

SAFEコンソーシアムポータルサイト  



「従業員の幸せのためのSAFEコンソーシアム」として、全てのステークホルダーが一丸となり、働く人と、全ての人の幸せのために、安全で健康に働くことのできる職場環境の実現のため取り組んでいます。

労働災害防止に向けた機運の醸成や、企業・労働者のみならず、顧客やサービス利用者等のステークホルダーの行動変容のためにご協力いただける全ての企業・団体等の皆様に、コンソーシアムへの参画を呼びかけています。

## コンソーシアムの趣旨・目的

労働災害のない安全で安心して働ける職場の実現は、いうまでもなく全ての人の願いです。しかし今、産業構造の変化や働き方の多様化に伴って、転倒や腰痛などの労働者個人の身体機能が大きく影響するリスクや、顧客・発注者、調達先等との関係で改善が難しい業務、柔軟な働き方が進んだ結果としての統一的な教育研修機会の減少など、職場単独では対応が難しい新たな課題が増えてきています。SAFEコンソーシアムは、このような課題の解決を進めるため、「Safer Action For Employees (SAFE)」を旗印に、社会全体として安全で安心して働ける職場づくりのプライオリティを上げ、加盟者が互いの知恵を共有しながら取組を進めていこうとするものです。



## 加盟メリット

- ロゴマークの掲示や「SAFEアワード」による労働安全衛生への取組のPR
- 加盟メンバー間での取組事例の共有や適切なサービスの利用による企業等内での労働安全衛生水準の向上、労働災害損失の減少
- 加盟メンバー間の労働災害防止・健康増進事業やサービスのマッチング

## 取組

- 1 加盟メンバーの地位向上(ロゴマークの利用、コンソーシアムの活動の発信)
- 2 優良事例の表彰、コンソーシアム内外への発信(SAFEアワード)
- 3 好取組事例や労働災害防止対策サービスの共有、コンソーシアム事務局主催イベント等によるマッチングによる新たな取組の創出
- 4 安全で安心して働ける職場の実現に向けた協議・周知啓発(シンポジウム)



## SAFEアワード

労働災害防止に向けた取組を実施している企業・団体に取組内容を応募いただき、優れた取組を表彰します。



## シンポジウム

SAFEコンソーシアム加盟者、その他の企業等が安全で安心して働ける職場の実現に向けた協議や周知啓発、交流を図ります。



## 現場視察

コンソーシアム加盟企業の取組を広く周知する現場視察等を行います。



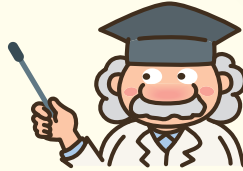
# 「転倒防止・腰痛予防」 対策を理学療法士が支援します!

「転倒防止」や「腰痛予防」対策として、体力の状況把握や身体機能の維持向上の取組みを進める事業場に対し、理学療法士が支援いたします。

## 支援内容

### 1. 対象事業場

支援を希望する沖縄県内の事業場



### 2. 支援回数

1事業場あたり年度で1回まで  
(\*支援にあたり別途、事前ヒヤリングを1回行います。)

支援は  
.....  
**無料**

### 3. 支援方法

対面又はリモート(\*離島の事業場については、リモートでの対応となります。)

### 4. 支援内容

作業状況から見た  
転倒防止、腰痛予防  
対策等に対する  
アドバイス

ロコモ度テスト・  
身体能力セルフ  
チェック等の  
健康測定への助言

・実技指導  
・運動アドバイス  
・社内セミナー



**申込みについて**

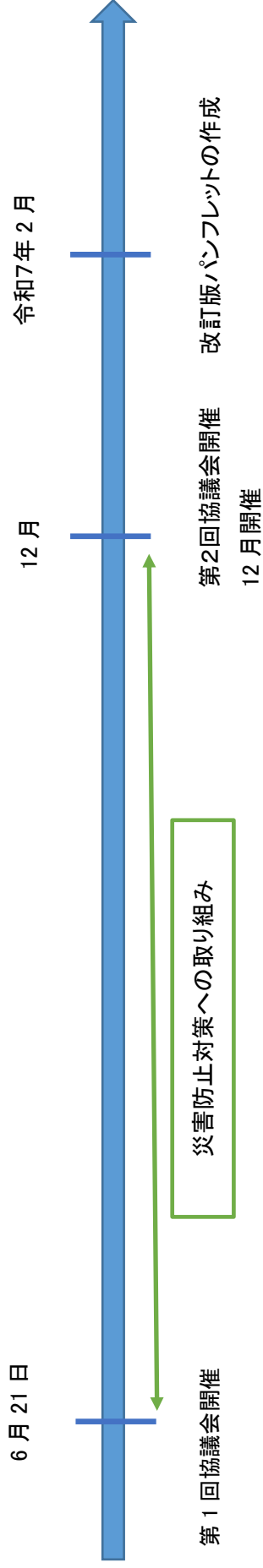
URL 又は二次元コードより  
お申込みください。

<https://www.okinawas.johas.go.jp/prevention/>

※当センターホームページからもお申込みできます。



## 沖縄県小売業 SAFE 協議会 令和6年度スケジュール(案)



### 今年度の目標

県内小売業に労働災害発生状況及び取組事例を周知するため改定版パンフレットを作成し、配布する。

# サンエー ～ 転びにくいカラダづくり！エクササイズ～

**\*毎日3分でできる！転びにくいカラダを作るエクササイズ！\***

①「すべり」を改善するトレーニング

- 【片足バランス】**
  - 膝を持ち上げ、片足でバランスをとります
  - 両足を伸ばし、姿勢よくバランスがとれるように意識します
- 【スクワット】**
  - 足を腰幅程度に開き、膝を曲げて伸ばします
  - お尻を斜め後ろ深くにおろすようにして腰を下ろしていきます
- 【カラダほじり】**
  - 顔は正面のまま体を左右にほじます
  - 肩、手の力は抜き、リラックスして動かしましょう

②「つまづき」を改善するトレーニング

- 【つま先上げ】**
  - 片足をあげたまま、つま先を上を持ち上げ、おろします
  - つま先を自分の脛に近づける様に意識してあげましょう
- 【かかと上げ】**
  - 足を安定する幅に開き、かかとを上げておろします
  - かかとを高く持ち上げるように動きます
- 【ふらはぎのストレッチ】**
  - 足を前後に開き、体重を前足に乗せます
  - 後ろ足のかかとを床につけたまま伸ばします

**\*日々のストレッチや柔軟体操などで、関節や筋肉を傷めるリスクも軽減できます！短い時間からでも良いのでまずは実践してみましょう！\***

※膝や腰などに痛みを持っている方は、悪化させない様にストレッチのやり方などは主治医と相談してから実施しましょう

## 従業員に労働災害を意識づける工夫として

**ろうさいだより**

従業員に労働災害の危険性を伝えるための工夫として、「ろうさいだより」を作成しています。

転倒災害による被害は増加傾向にあり、従業員の安全確保が重要です。

※「毎日3分でできる！転びにくいカラダを作るエクササイズ」リーフレット（厚生労働省）を加工して作成

当社の災害原因で最も多いのが転倒災害です。50~60代の発生が多く、障害物、床漏れなどの環境要因が見られない場所でも転倒災害が発生しています。「従業員本人」による筋力アップトレーニングやストレッチなどのセルフケアの実施も重要と考え、転びにくいカラダづくりとしてエクササイズを推奨しています！

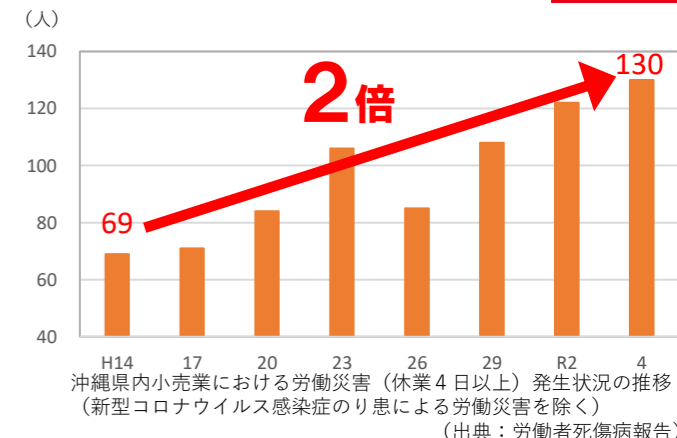
従業員に社内でのどのような労働災害が起きているのか知ってもらうために「ろうさいだより」を作成しています。全員に見てもらうために、メール配信や掲示板への貼り出しをしています。

# 沖縄県小売業SAFE協議会

～私たちは労働災害の防止対策に取り組んでいます～  
転倒災害防止編



沖縄県内の小売業における休業4日以上の労働災害（以下、「労働災害」という。）による死傷者数は直近20年で約2倍と増加しています。近年は転倒や腰痛など日常生活でも発生しうる災害が多く発生しており、労働災害の約半数を占めています。転倒災害においては、約半数が休業1か月以上であり、中には休業6か月以上に及ぶものもあります。



沖縄県小売業SAFE協議会では、今ある問題点や解決に向けた取り組みについて様々な観点から協議し、労働災害の減少を図ります。このパンフレットでは、私たち協議会メンバーの転倒災害防止に関する取り組みを紹介しています。参考いただき、ぜひ皆様の職場でも取り組みをお願いいたします。

## Safer Action For Employees

～従業員の幸せのための安全アクション～



### 沖縄県小売業SAFE協議会

この協議会は沖縄県内のリーディングカンパニー、業界団体、行政機関を構成員として労働災害防止に関する情報の共有、好事例の周知、啓発活動を通じて、労働災害を防ぎ安全で安心して働ける職場の実現を目指しています。

### 構成員メンバー

- 企業：イオン琉球株式会社 / 金秀商事株式会社  
株式会社サンエー / 株式会社リウボウインダストリー  
株式会社リウボウストア / 生活協同組合コープおきなわ
- 業界団体：沖縄県商工会連合会
- 行政機関：沖縄県商工労働部中小企業支援課  
沖縄労働局労働基準部健康安全課

令和6年2月現在 順不同

問い合わせ先【事務局】 沖縄労働局 労働基準部 健康安全課 電話 098-868-4402 (R6.2)

## イオン琉球 ～ 5S 転倒災害対策は整理された通路から～



同じ通路です！

整理・整頓



店舗裏の通路です。通路左右に物が置かれ狭く、通りづらくなっています。

片側にライン引きを行い、ライン内に物を置くように整理しました。

整理された状態を維持するための工夫として「あるべき姿」を掲示しています。



## コープおきなわ ～通路・階段を安全に利用いただくために～

◎外通路は滑り止めシートで転倒防止 ◎階段の始めと終わりをわかりやすく



店舗の入口と駐車場をつなぐ外通路です。濡れると滑りやすくなるため、雨天時に転倒災害が発生しました。

対策として、「滑り止めシート」の貼り付けを行いました。シートの表面がざらざらしているため滑るのを防いでくれます。



階段を上り下りする時に階段の始めと終わりで踏み外すことやつまづくことが多いとの声がありました。

階段の始めと終わりに黄色のマーキングテープを貼り、気づきやすくしました。

## デパートリウボウ ～死角箇所見える化～

対策として



安全ミラーを設置！死角箇所見える化しました。

実は写真の右側に写っている白い壁の裏側にも通路があります。しかし、死角となっており見えません。合流箇所では従業員同士がぶつかり転倒災害が発生しました。



掲示による周知もしています

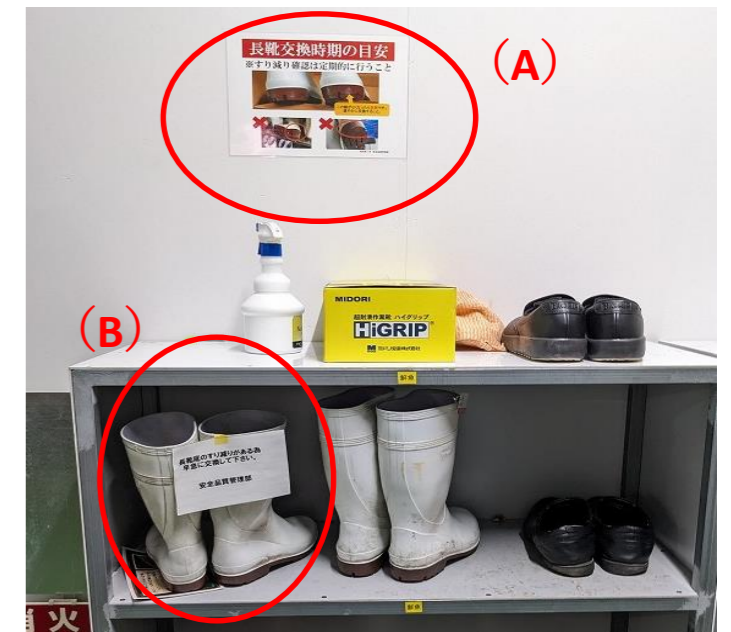
## タウンフラザかねひで ～ すいへった靴は危険です～

### 長靴交換時期の目安

※すり減り確認は定期的に行うこと



靴底がすり減った靴は滑りやすいため、定期的なすり減りの確認を行うよう周知しています。



靴箱の近くに掲示し、従業員への周知、意識づけを行っています。(A) 本部スタッフの店舗巡回時には、従業員の靴底を確認し、すり減っている靴は交換するように指示をしています。(B)

## いっぽうストア ～ 調理場の床を修繕し、従業員の負担を軽減～

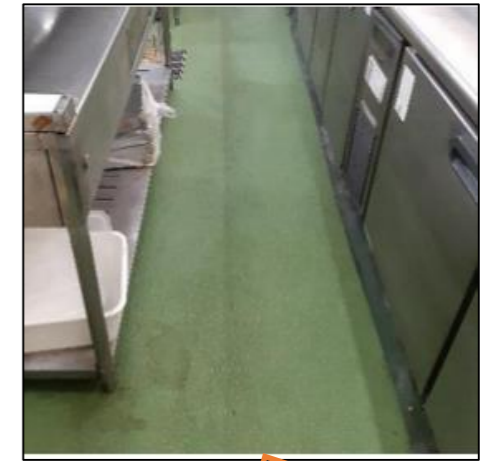
改善前



施工期間は1日。営業面に影響が出ないように店休日に行いました。

修繕

改善後



調理場の床が経年劣化により摩耗、凹凸が発生。従業員の「転びそう」という声を受けて、修繕を実施しました。

修繕の結果、転倒防止以外に疲労度の軽減の効果も！！従業員より終業後の疲労が軽減されたとの嬉しい報告がありました。また、凹凸がなくなったことで清掃がしやすくなりました。清掃時間も短縮し、品質管理の面でも効率化が図られました。